

Honeywell

Captuvo エンタープライズ Sled シリーズ

ユーザーズガイド

免責事項

Honeywell International Inc.（以下“ハネウエル”）は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウエルにお問い合わせください。本書の情報についてハネウエルでは一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、ハネウエルでは一切の責任を負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、ハネウエルの文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

© 2014 Honeywell International Inc. All rights reserved.

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

Web アドレス：www.honeywellaidc.com

Apple、iPod touch、iPhone5、および iPad mini はアメリカ合衆国および他国でのアップル社の商標です。App Store はアップル社のサービスマークです。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

特許

著作権については、www.hsmpats.com を参照してください。

目次

Chapter 1 - はじめに

はじめに	1-1
製品の開梱	1-1
動作温度	1-1
読み取り方法	1-2
カスタムデフォルトの設定	1-2
カスタムデフォルトの再設定	1-3
初期設定へのリセット	1-4

Chapter 2 - 入力・出力設定

読み取り成功およびエラーインジケータ	2-1
ブザー：読み取り成功時	2-1
ブザーの音量：読み取り成功時	2-1
マニュアルトリガーモード	2-2
携帯端末読み取りモード	2-2
センタリング	2-2
優先シンボル	2-4
高優先度シンボル	2-5
低優先度シンボル	2-5
優先シンボルのタイムアウト	2-6
優先シンボルのタイムアウト	2-6
アウトプットシーケンスの概要	2-6
アウトプットシーケンスの要求	2-6
アウトプットシーケンスエディタ	2-7
アウトプットシーケンスを追加する	2-7
他の設定	2-7
アウトプットシーケンスエディタ	2-9
パーティカルシーケンス	2-9
アウトプットシーケンスの要求	2-10
複数シンボル	2-10
No Read	2-11
ビデオリバース（反転コード）	2-11
ワーキングオリエンテーション	2-13

Chapter 3 - データ編集

プリフィクス／サフィックスについて.....	3-1
プリフィクスまたはサフィックスの追加手順....	3-1
1つまたはすべてのプリフィクスまたはサフィックスの削除.....	3-3
キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する.....	3-4
プリフィクスの設定.....	3-4
サフィックスの設定.....	3-4
ファンクションコード送信.....	3-5

Chapter 4 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて.....	4-1
データフォーマットの追加.....	4-1
他の設定.....	4-3
ターミナル I D テーブル.....	4-4
データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド)4-4	
移動コマンド.....	4-9
検索コマンド.....	4-11
その他のコマンド.....	4-13
データフォーマッタ.....	4-17
データフォーマット非適合エラーブザー.....	4-18
基準／代用データフォーマット.....	4-19
データフォーマットの切り替え.....	4-19

Chapter 5 - シンボル

すべてのシンボル.....	5-2
読み取り桁数について.....	5-2
Codabar.....	5-3
Codabar の連結.....	5-4
Code 39.....	5-6
Code 32 Pharmaceutical (PARAF).....	5-8
Full ASCII.....	5-9
Code 39 コードページ.....	5-9

Interleaved 2 of 5 (ITF)	5-10
NEC 2 of 5	5-12
Code 93	5-14
Code 93 コードページ	5-14
Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート / ストップ) 5-15	
Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ) ..	5-16
Matrix 2 of 5	5-17
Code 11	5-18
Code 128	5-19
ISBT 128 連結機能	5-19
Code 128 コードページ	5-21
GS1-128	5-22
Telepen	5-23
UPC-A	5-24
UPC-A/EAN-13	
拡張クーポンコード付	5-27
UPC-E0	5-28
UPC-E1	5-31
EAN/JAN-13	5-32
UPC-A から EAN-13 への変換	5-32
ISBN 変換	5-34
EAN/JAN-8	5-35
MSI	5-37
GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル) 5-39	
GS1 データバー限定型 (リミテッド)	5-39
GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)	5-40
Trioptic コード	5-41
Codablock A	5-41
Codablock F	5-43
PDF417	5-44
MicroPDF417	5-45
GS1 コンポジットシンボル	5-46
UPC/EAN バージョン	5-46
GS1 エミュレーション	5-47
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	5-48
QR コード	5-48

Data Matrix	5-50
Data Matrix コードページ	5-51
Maxi コード	5-52
Aztec コード	5-53
Aztec コードページ	5-54
中国郵便漢信 (Han Xin) コード	5-55
2次元郵便コード	5-56
2次元郵便コード (単独)	5-56
2次元郵便コード (組み合わせ)	5-57
郵便コード - 1次元	5-59
中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)	5-59
韓国郵便	5-61

Chapter 6 - シリアルプログラミングコマンド

記述上の語句	6-1
メニューコマンドシンタックス (構文)	6-1
質問コマンド	6-2
レスポンス	6-2
標準の製品初期設定へのリセット	6-4
メニューコマンド	6-5

Chapter 7 - 保守

修理	7-1
ヘルスケア筐体の清掃方法 (ヘルスケア端末のみ) ..	7-1
ケーブルとコネクタの点検	7-1
トラブルシューティング	7-1

Chapter 8 - カスタマーサポート

テクニカルサポート	8-1
-----------------	-----

Appendix A - 付録チャート

シンボルチャート	A-1
リニアシンボル	A-1
2次元シンボル	A-4
郵便シンボル	A-4

ASCII 変換チャート (コードページ 1252).....	A-5
下位 ASCII R リファレンステーブル.....	A-6
ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換	A-10



はじめに

Captuvo Enterprise Sleds はすべてのタイプのバーコードを読み取るための内蔵イメージャーがあります。本ガイドにあるプログラミングバーコードを使用して Sled のエンジンを設定できますが、アプリケーションがプログラムした設定に上書きされる場合があります。磁気カードを読むためのオプションの磁気ストライプリーダー（MSR）オプションがあります。

製品の梱包

箱の中身に以下の製品が入っているか確認してください。

- Captuvo エンタープライズ Sled
- チャージャー（オプション）
- USB ケーブル
- クイックスタートガイド
- 規格シート

注意： Sled のアクセサリーを注文された場合は、それも同梱されていることを確認してください。

Sled の返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

注意： ハネウエルは認定アップリペアセンターではありません。修理には Sled のみをお送りください。ハネウエルは、リペアセンターに送られたハネウエル製品以外のものに対して責任を負いません。

注意： 重要な製品および安全情報のためにアップル製品の説明書をお読みください。

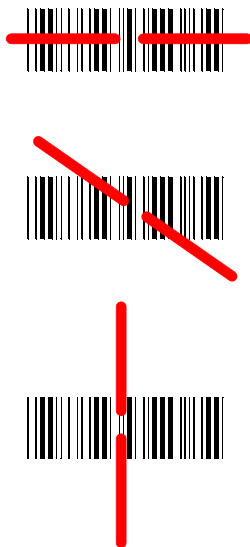
動作温度

Captuvo Sled の動作温度範囲は、0 °C ~ 35 °C です。

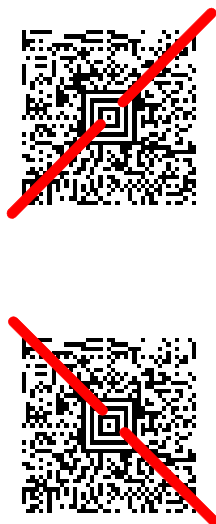
読み取り方法

Sledには、イメージャの横方向の視界に相当する明るい赤のエイミングビームを投射するビューファインダがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。

Linear bar code



2D Matrix symbol



エイミングビームは、Sledがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。パーまたはエレメントが小さなシンボル（ミルサイズ/分解能）はスキャナを近づけて読み取り、大きなシンボル（ミルサイズ/分解能）は離して読み取ってください。1個または複数のシンボル（1ページまたは1個の物体）を読み取るときは、目標から適切な距離でSledを保持し、トリガを引き、エイミングビームをシンボルの中心に合わせてください。読み取るバーコードの反射が大きい場合は（ラミネートされている場合など）、無用な反射を避けるため、バーコードを15度～18度傾けることが必要な場合があります。

カスタムデフォルトの設定

お客様自身のカスタムデフォルトのメニューコマンドをお作りになることができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとに Save（保存）のコードを読み取ればシーケンス全

体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）コードを再度読み取ります。



MNUCDF.

カスタムデフォルトの設定



MNUCDS.

カスタムデフォルトの保存

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち 1 つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きするだけです。例えば、ブザーの音量をカスタムデフォルトでは「小」に設定しており、「大」に変更したい場合、Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取り、それから Beeper Volume High（ブザー音量 大）バーコードを読み取った後に Save Custom defaults（カスタムデフォルトの保存）を読み取るだけです。他のカスタムデフォルトはそのまま残り、ブザー音量の設定は更新されます。

カスタムデフォルトの再設定

ご使用の Sled でカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults（カスタムデフォルトを起動）バーコードを読み取ってください。これは多くのユーザーのために推奨するデフォルトバーコードです。これは Sled の設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

初期設定へのリセット



本章ではすべての設定の消去し Sled を工場出荷時にリセットを行います。またすべてのプラグインを無効にします。

Sled にどのプログラムオプションが有効か不確かな場合またはいくつかのオプションを変更し、工場出荷時の設定に復元したい場合、**Remove Custom Defaults**（カスタムデフォルトの削除）バーコードをスキャンし、次に **Activate Defaults**（デフォルトの有効化）をスキャンしてください。これで Sled は工場出荷時の設定にリセットされます。



DEFOVR.

カスタムデフォルトの削除



DEFAULT.

デフォルトの有効化

メニューコマンド、6-5 ページは、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（*）で表示）の標準の初期設定を示しています。

読み取り成功およびエラーインジケータ

ブザー：読み取り成功時

読み取りに成功した場合のブザーを**有効**または**無効**に設定できます。このオプションをオフにすると、グッドリード表示へのブザー応答だけをオフにします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。
初期設定 = Beeper - Good Read On (読み取り成功のブザー 有効)



BEPBEP0.

読み取り成功のブザー 無効



BEPBEP1.

* 読み取り成功のブザー 有効

ブザーの音量：読み取り成功時

読み取り成功時に Sled が鳴らすブザーの音量を変更します。初期設定 = High (大)



BEPLVL1.

小



BEPLVL2.

中



BEPLVL3.

* 大



BEPLVL0.

オフ

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。標準モードでは、高速で広い読取範囲（読取深度）で読み取ります。初期設定 = Manual Trigger Mode - Normal（マニュアルトリガーモード 標準）



PAPHHF.

マニュアルトリガー 標準

携帯端末読み取りモード

この機能は、お使いの Sled を携帯端末やその他の LED デバイスのバーコード読み取りに最適化します。しかし、このモードでは印刷されたバーコードの読取速度は少し遅くなります。



PAPHHC.

手持ち読み取り - 携帯端末

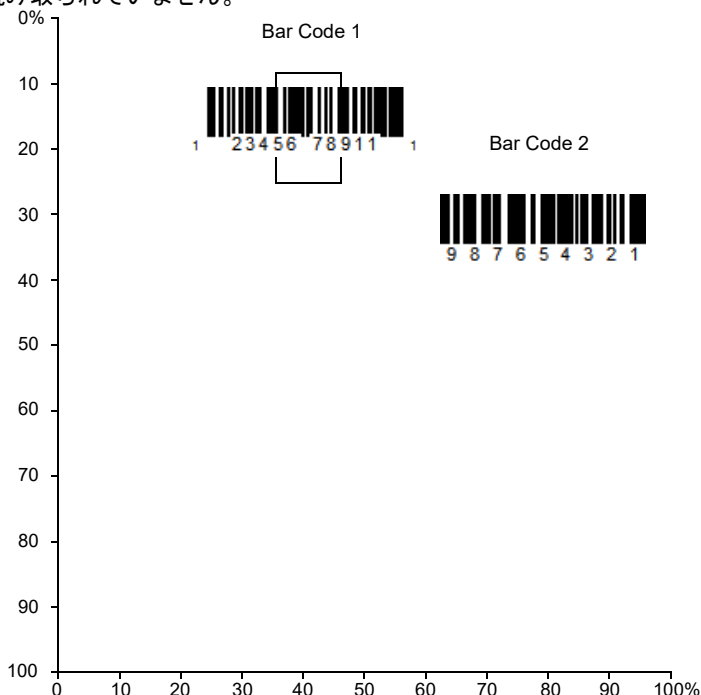
注意：携帯端末読み取りモードを無効にするには、マニュアルトリガーモードのバーコード（2-2 ページ参照）を読み取ってください。

センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用して Sled の視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります

事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。Centering On（プレゼンテーションセンタリング 有効）を読み取って設定を有効にすると、Top of Centering Window, Bottom of Centering Window（センタリングウィンドウ 上部）、（プレゼンテーションウィンドウ 底部）、Left, and Right of Centering Window（プレゼンテーションセンタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックスがセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは20%左、30%右、8%上、25%下に設定されています。バーコード1は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード2はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



注意：バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Centering On (センタリング有効)を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 **Save (保存)** を読み取ります。初期設定センタリング= Top と Left が40%、Bottom と Right が60%



DECWIN1.
センタリング 有効



DECWINO.

* センタリング 無効



DECTOP.

センタリングウィンドウ 上



DECBOT.

センタリング 下



DECLFT.

センタリング 左



DECRGT.

センタリング 右

優先シンボル

複数のシンボルが1枚のシートに印刷されているものの、優先順位の低い方のシンボルの読み取りを無効にできない場合、ある一つのシンボルを他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。

例えば、UPC シンボルを小売店舗で読み取るよう設定を施した Sled を使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合があるとします。一部の免許証には Code 39 シンボルのほかに PDF417 シンボルもありますが、優先シンボルを使用すると、Code 39 ではなく PDF417 を先に読み取るよう指定することができます。

優先シンボルは、各シンボルを優先度高、優先度低、または指定なしタイプに分類されます。優先度低いシンボルが現れたとき、Sled は設定した時間（**優先シンボルのタイムアウト** 2-6 ページ参照）の間、このシンボルを無視し優先度高のシンボルを探します。この時間内に優先度高のシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度の高いシンボルを読み取る前にタイムアウト時間が過ぎてしまうと、Sled は視界内のバーコード（優先度 低 または指定なし）を読み取るようになります。タイムアウト時間が過ぎてても Sled の視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

注意：優先度低のシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

次のバーコードを読み取って、優先シンボルを有効または無効にします。初期設定 = Preferred Symbology Off (優先シンボル 無効)



PRFENA1.

優先シンボル 有効



PRFENA0.

* 優先シンボル 無効

高優先度シンボル

優先度の高いシンボルを指定するには、次の High Priority Symbology (高優先度シンボル) バーコードを読み取ります。シンボルチャート A-1 ページのシンボルチャートで、高優先度に設定するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート (裏表紙の内側) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。Save (保存) を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None (なし)



PRFCOD.

高優先度シンボル

低優先度シンボル

優先度の低いシンボルを指定するには、次の Low Priority Symbology (低優先度シンボル) バーコードを読み取ります。シンボルチャート A-1 ページのシンボルチャートで、低優先度に設定するシンボルを探します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート (裏表紙の内側) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

優先度の低いシンボルをさらに設定したい場合は、FF を読み取った後、次のシンボルに対応する 2 桁の Hex 値をプログラミングチャートから読み取ります。最大 5 つの優先度低シンボルを設定できます。Save (保存) を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None (なし)



PRFBLK.
低優先度シンボル

優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、高優先度および低優先度のシンボルを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが現れた後、Sled が高優先度のバーコードを探す時間です。次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってデレイ (0 ~ 3,000 ミリ秒) を設定し、Save (保存) を読み取ります。初期値 = 500ms



PRFPTO.
優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルのタイムアウト

次のバーコードを読み取ると、すべての優先シンボル設定がデフォルトに戻されます。



PRFDFT.
優先シンボルのデフォルト

アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンスの要求

オフにすると、バーコードデータは Sled がデコードしたままホストに出力されます。有効の場合、すべての出力データは設定したシーケンスと同じでなければなりません。同じでなければ、Sled は出力データをホスト機器に送信しません。

注意 ; この設定は、マルチプルシンボル設定がオンになっているときは使用できません。

アウトプットシーケンスエディタ

この設定では、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションに必要な任意の順序でデータを出力するように（複数のシンボルを読み取るとき）Sledを設定できます。Default Sequence（シーケンスのデフォルト）のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にSledを設定します。これが初期設定になっています。Default Sequenceのシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注意； また、シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

注意； アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションに必要なコードID、コード長、および合致させるキャラクタを事前に確認する必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらの設定値を読み取ってください。

アウトプットシーケンスを追加する

1. **Enter Sequence**（シーケンスの入力）のバーコードを読み取ります。（アウトプットシーケンスの要求、2-10 ページを参照。）
2. **コード I.D.**
シンボルチャート A-1 ページのシンボルチャートでアウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルの種類を確認します。シンボルのHex 値を確認し、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から2桁のHex 値を読み取ります。
3. **長さ**
シンボルの長さ（最大 9,999 桁）を指定します。プログラミングチャートから4桁のデータ桁数を読み取ってください。（注：50 桁は0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さ／桁数を示します。）データ桁数を計算するときには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。（9999 を使用しない場合。）
4. **合致キャラクタの指定**
ISO 2022/ISO 646 **キャラクタ変換**、A-10 ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」で合致させたいキャラクタを表すHex 値を確認します。その後、プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。（99 は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。）
5. **アウトプットシーケンスの終了**
追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときは **FF** を読み取ります。または **Save（保存）** を読み取って入力を保存します。

他の設定

- **Discard（破棄）**
アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンス 設定例

この例では、Code 93、Code 128、および Code 39 のバーコード読み取りに際し、下記のように Code 39 をはじめに、次に Code 128 を、Code 93 を三番目に出力するよう読み取りたいとします。

注意；この例では、Code 93 が必ず有効でなければなりません。



A - Code 39



B - Code 128



C - Code 93

次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

```
SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF
```

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

62 Code 39 のコード ID

9999 Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

41 Code 39 先頭キャラクタを指定、41h="A"

FF 最初のコードの終了

6A Code 128 のコード ID

9999 Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

42 Code 128 の先頭キャラクタを指定、42h="B"

FF 2 番目のコードの終了

69 Code 93 のコード ID

9999 Code 93 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

43 Code 93 の先頭キャラクタを指定、43h="C"

FF 3 番目のコードの終了ストリング

特定のデータ長を使用して先の例を設定するには、設定したプリフィックス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ長の一部として数える必要があります。2-8 ページの例を使用しつつ <CR> サフィックスと特定のコード長を想定する場合は、次のコマンド行を使用します。

SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLKシーケンスの入力

62	Code 39 のコード ID
0012	A - Code 39 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
41	Code 39 先頭キャラクタ、41h="A"
FF	最初のコードの終了
6A	Code 128 のコード ID
0013	B - Code 128 のコード長 (12) + CR サフィックス (1) = 13
42	Code 128 先頭キャラクタ、42h="B"
FF	2 番目のコードの終了
69	Code 93 のコード ID
0012	C - Code 93 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
43	Code 93 先頭キャラクタ、43h="C"
FF	3 番目のコードの終了

アウトプットシーケンスエディタ



SEQBLK.

シーケンスの入力



SEQDFT.

シーケンスのデフォルト

パーティカルシーケンス

アウトプットシーケンスがすべての出力シーケンス基準と合致する前に終了された場合、そこまでに得られたバーコードデータが「パーティカルシーケンス」となります。

Discard Partial Sequence（パーティカルシーケンスの破棄）を読み取ると、アウトプットシーケンスが途中で中断されたパーティカルシーケンスを破棄します。Transmit Partial Sequence（パーティカルシーケンスの送信）を読み取ると、パーティカルシーケンスを送信します。（合致するデータがないシーケンスのフィールドは、出力時にスキップされます。）



SEQTTTS1.

パーティカルシーケンスの送信



SEQTTTS0.

* パーティカルシーケンスの破棄

アウトプットシーケンスの要求

アウトプットシーケンスが **Required（要求する）** のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合致していなければ、Sled は出力データをホストデバイスに送信しません。 **On/Not Required（有効、要求しない）** のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

無効 の場合は、バーコードデータは Sled がデコードしたままホストに出力されます。 **初期設定 = 無効**

注意； この設定は、マルチプルシンボル設定がオンになっているときは使用できません。



SEQ_EN2.

要求する



SEQ_EN1.

有効、要求しない



SEQ_END.

* 無効

複数シンボル

このプログラミング設定を **有効** に Sled のトリガーを 1 回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま複数のシンボルに照準を合わせると、各シンボルを 1 回ずつ読み取り、その都度ブザーを鳴ら

します（有効時に限る。）Sled は、トリガーを引いている間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。このプログラム設定を**無効**にすると、エイミングビームに最も近いシンボルだけを読み取ります。*初期設定 = 無効*



SHOTGN1.

有効



SHOTGNO.

* 無効

No Read

No Read を**有効**にすると、Sled はコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Window を使用している場合は、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Read を**無効**にすると「NR」は表示されません。*初期設定 = 無効*



SHWNRD1.

有効



SHWNRD0.

* 無効

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、出力メッセージを編集できます（[データフォーマット 4-1 ページ参照](#)）からのデータフォーマット参照）。No Read シンボルの Hex 値は 9C です。

ビデオリバース（反転コード）

ビデオリバースを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。**Video Reverse Off**（反転コード 無効）はこのバーコードの例です。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only（反転コー

ドのみ 有効) を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes (標準および反転コード両方 有効) を読み取ってください。

注意: Video Reverse Only を読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、Video Reverse Off (反転コード 無効) もしくは Video Reverse and Standard Bar Codes (反転および標準コード) を読み込んでください。

注意: 画像は反転されません。これは、読み取り専用の設定です。



VIDREV1.

反転コードのみ 有効



VIDREV2

反転および標準コード



VIDREV0

* 反転バーコード 無効

ワーキングオリエンテーション

バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIX コードや OCR フォントのように横から、または上下逆さに読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取られない場合、この機能を使用してください。初期設定 = Upright (正面)

正面



垂直、上から下へ
(CW 90° 回転)



上下逆さ



垂直、下から上へ
(CW 90° 回転)



初期設定 = Upright (正面)



ROTATN0.

* 正面



ROTATN1.

垂直、下から上



ROTATN2.

上下逆さ



ROTATN3.

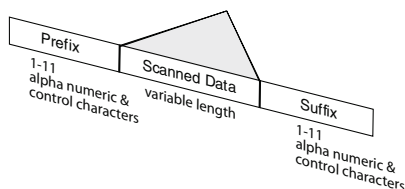
垂直、上から下



プリフィクス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プリフィクスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルに適用するか、特定シンボルにだけ適用するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。初期設定プリフィクス= None (なし) 初期設定サフィックス= None (なし)
- プリフィクスやサフィックスは、1 シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- [ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページで、プリフィクスやサフィックスは、どれでもコード ID や AIM ID と一緒に追加できます。
- 1 回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプリフィクスとサフィックスを入力してください。
- すべてのシンボルではなく、特定のシンボルを設定するとき、そのコード ID 値は、追加されたプリフィクスまたはサフィックスのキャラクタと見なします。
- プリフィクス／サフィックスは、ヘッダー情報を含めて最大 200 キャラクタ (桁) まで追加可能です。

プリフィクスまたはサフィックスの追加手順

- Step 1.** Add Prefix (プリフィクスの追加) または Add Suffix (サフィックスの追加) のバーコードを読み取ります。3-4 ページ
- Step 2.** シンボルチャート ([シンボルチャート](#)、A-1 ページにあります) からプリフィクスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2

桁の Hex 値を確認します。例えば、Code 128 の場合、コード ID は「j」、Hex ID は「6A」です。

Step 3. 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は **9、9** と読み取ります。

Step 4. **ASCII 変換チャート (コードページ 1252)**、A-5 ページから、入力したいプリフィクスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。

Step 5. 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。

Step 6. プリフィクスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。

Step 7. コード ID を追加するときは、**5、C、8、0** を読み取ります。
AIM ID を追加するときは、**5、C、8、1** を読み取ります。
バックスラッシュ (\) を追加するときは、**5、C、5、C** を読み取ります。

注意：Step 7 でバックスラッシュ (\) を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

Step 8. **Save (保存)** を読み取って保存／終了するか、**Discard (破棄)** を読み取って保存せずに終了します。

別のシンボルにプリフィクスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ~ 6 を繰り返します。

例：サフィックスを特定のシンボルに追加する場合

CR (キャリッジリターン) サフィックスを UPC だけに送信するには

-
- Step 1.** **Add Suffix** を読み取ります。
 - Step 2.** シンボルチャート (**シンボルチャート**、A-1 ページにあります) から UPC の 2 桁の Hex 値を確認します。
 - Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **6**、**3** を読み取ります。
 - Step 4.** **ASCII 変換チャート (コードページ 1252)**、A-5 ページから、CR (キャリッジリターン) の Hex 値を確認します。
 - Step 5.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、**0**、**D** を読み取ります。
 - Step 6.** **Save (保存)** を読み取るか、**Discard (破棄)** を読み取って保存せずに終了します。

1 つまたはすべてのプリフィクスまたはサフィックスの削除

シンボルのプリフィクスまたはサフィックスを 1 つまたはすべて削除できます。1 つのシンボルにプリフィクスやサフィックスを追加したことがある場合、**Clear One Prefix/Suffix** (1 つのプリフィクスまたはサフィックスを削除) で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、**Clear All Prefixes/Suffixes** (すべてのプリフィクスまたはサフィックスを削除) を選択すると、すべてのプリフィクスまたはサフィックスが削除されます。

- Step 1.** **Clear One Prefix** または **Clear One Suffix** のバーコードを読み取ります。
- Step 2.** シンボルチャート (**シンボルチャート**、A-1 ページにあります) から、プリフィクスまたはサフィックスを削除したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 2 桁の Hex 値を読み取ります。全シンボルの場合は **9**、**9** を読み取ります。

変更内容は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



VSUF CR.

キャリッジリターンサフィックスを追加
すべてのシンボル

プリフィックスの設定



PREBK2.

プリフィックス追加



PRECL2.

プリフィックス1つ削除



PRECA2.

すべてのプリフィックス削除

サフィックスの設定



SUFBK2.

サフィックスの追加



SUFCL2.

サフィックス1つ削除



SUFCA2.

すべてのサフィックス削除

ファンクションコード送信

有効な場合、ファンクションコードが読み取ったデータ内に含まれ、Sled は端末にファンクションコードを送信します。初期設定 = 有効



RMVFNC0.

* 有効



RMVFNC1.

無効



データフォーマット

データフォーマットエディタについて

Sled の出力を変更するために、データフォーマットエディタを使用できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。データフォーマットの初期設定 = None (なし)

通常、バーコードを読み取ると自動的にデータが出力されます。フォーマットを使用する場合は、フォーマットプログラムの中で「送信」コマンド (送信コマンド 4-4 ページ参照) 「送信コマンド」を参照) でデータを出力する必要があります。

複数のフォーマットを Sled にプログラムできます。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000 バイトが最大サイズです。

データフォーマットの設定の変更を行ったものの、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の Default Data Format (データフォーマット初期設定) コードを読み取ってください。



DFMDF3.

* データフォーマット初期設定

データフォーマットの追加

Step 1. データフォーマットの入力のシンボルを読み取ります。(4-3 ページ)

Step 2. Primary (基準) もしくは Alternate Format (代用) フォーマットを選択します。

基準のデータフォーマットにするか、または 3 つある代用フォーマットの 1 つにするかを決定します。全部で 4 つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定す

るときは、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。（詳細については、**基準／代用データフォーマット** 4-19 ページを参照してください。）

Step 3. ターミナルの種類

ターミナル ID テーブル (4-4 ページ) を参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID ナンバーを確認します。裏表紙の内側にある 3 つの数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID でスキャナをプログラム設定します。（数字を 3 つ入力してください。）例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

注意 : すべてのターミナルに適用する場合は、099 と入力してください。

Step 4. コード ID

シンボルチャート、A-1 ページので、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

ある特定のシンボル以外のすべてのシンボルに設定を適用したい場合は、B8 (**4-16 ページ**) を参照してください。

バッチモード数量のデータフォーマットを作成するには、コード ID の 35 を使用します。

注意 : 99 はすべてのシンボルを表します。

Step 5. コードの長さ

このシンボルで可能なデータの長さ（最大 9,999 桁）を指定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 4 桁のデータ長を読み取ります。例えば、50 桁は 0050 と入力します。

注意 : コードの長さを問わず設定を適用したい場合は、9999 と入力してください。

Step 6. 編集コマンド

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド) (4-4 ページ) を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。各シンボルデータフォーマットには、94 の英数キャラクタを入力できます。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save（保存）を読み取ってください。保存しない場合は Discard（破棄）を読み取ります。



DFMBK3.

データフォーマットの入力



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

他の設定

1つのデータフォーマットの削除

1つのシンボルに対してデータフォーマットを1つ削除します。標準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から **0** を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID ([シンボルチャート A-1](#) ページ参照)、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

すべてのデータフォーマット削除

すべてのデータフォーマットを削除します。

Save（保存）：データフォーマットを保存します。

Discard (破棄) : データフォーマットの設定を中止し、破棄します。



DFMCL3.

データフォーマットを1つ削除



DFMCA3.

データフォーマットをすべて削除



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

ターミナル ID テーブル

ターミナル	モデル	ターミナル ID
シリアル	RS232	000

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド)

データフォーマットエディタを行う場合、カーソルが入力データにそって移動します。次のコマンドを使用して、カーソルを違う位置に移動し、最終出力にデータの選択、変換、そして挿入を行います。データフォーマットエディタを使用した例は、[データフォーマット](#) 4-17 ページを参照してください。

送信コマンド

すべてのキャラクタを送信

- F1 入力メッセージ (読み取ったデータ) のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx (xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページの ASCII 変換チャート (コードページ 1252) を参照してください。

いくつかのキャラクタを送信する

- F2 入力メッセージ（読み取ったデータ）から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax = F2nnxx（nn はキャラクタの数を示す数字（00～99）で、xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート（コードページ 1252）](#)、A-5 ページの[を参照してください](#)。

F2 の例：いくつかのキャラクタを送信する



上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入して送信します。コマンド：**F2100D**

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

10 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**1234567890**

F2 と F1 の例：キャラクタを 2 行に分割

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入し、残りのキャラクタを送信します。

コマンド：**F2100DF10D**

F2 は「Send a number of characters（いくつかのキャラクタを送信する）」コマンドです。

10 は最初の行に送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

F1 は「Send all characters（すべてのキャラクタを送信する）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**1234567890**

ABCDEFGHIJ

<CR>

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

- F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx (nn は検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

F3 の例：特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「D」までのすべての文字とキャリッジリターンを送信します。

コマンド：**F3440D**

F3 は「Send all characters up to a particular character (特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する)」です。

44 は「D」の Hex 値です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**1234567890ABC**
<CR>

特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する

- B9 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索文字列「s...s」の手前までのデータを送信します。カーソルは「s...s」キャラクタへと移動します。Syntax = B9nnnns...s (nnnn は検索する文字列の ASCII コードに対する Hex 値を示し、s...s は、指定した文字列の ASCII コードに対する Hex 値を示しています。文字列は文字列にある文字の Hex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページのを参照してください。

B9 の例：特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。

コマンド：**B900024142**

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字列の長さです。(2 文字)

41 は「A」の Hex 値です。

42 は「B」の Hex 値です。

データ出力は : **1234567890**

最後のキャラクタ以外を送信する

- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax = E9nn (nn は、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値 (00 ~ 99) を示しています。

キャラクタを複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置はそのまま、「xx」キャラクタを「nn」回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn (xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数の数値 (00 ~ 99) を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページのを参照してください。

E9 と F4 の例 : 最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する



上記のバーコードから最後の 8 桁を除いたすべてのキャラクタにタブを 2 つ追加して送信します。

コマンド : **E908F40902**

E9 は「Send all but the last characters (最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する)」

08 は無視するキャラクタ数です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

09 は「水平タブ」の Hex 値です。

02 は挿入するタブの数です。

データ出力は : **1234567890AB <tab><tab>**

文字列の挿入

- BA 現在のカーソル位置はそのまま、`「nn」`の長さの`「ss」`キャラクタを送信します。`Syntax = BAnnnns...s` (nnnnは文字列の長さ、s...sは文字列を示しています。)文字列は文字列にある文字のHex値です。Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、[ASCII変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

B9 と BA の例 : 「AB」を検索し、アスタリスク () を 2 つ挿入する。**



1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。2つのアスタリスクを挿入し、それ以降の文字にキャリッジリターンを付加して送信します。

コマンド : **B900024142BA00022A2AF10D**

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字列の長さです。(2文字)

41 は「A」のHex値です。

42 は「B」のHex値です。

BA は「文字列の挿入 (Insert a string)」です。

0002 は追加する文字列の長さです。(2文字)

2A はアスタリスク (*) のHex値です。

2A はアスタリスク (*) のHex値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値のHex値です。

データ出力は : **1234567890**ABCDEFGHIJ**

<CR>

シンボル名を挿入する

- B3 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードシンボル名を挿入します。含まれるのは、ハネウエル ID のあるシンボルのみです。(シンボルチャート A-1 ページ参照)

Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、[ASCII変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

バーコード長を挿入する

- B4 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。バーコードの長さは数字のストリングによって示され、リード部の 0 は含まれません。

B3 と B4 の例：シンボル名とシンボル長を挿入する



上記のバーコードにバーコードデータの前にシンボル名と長さを挿入し送信します。その挿入をスペースで分けます。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：**B3F42001B4F42001F10D**

B3 は「シンボル名を挿入する (Insert symbology name)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

B4 は「Insert bar code length (バーコード長を挿入する)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**Code128 20 1234567890ABCDEFGHIJ**

<CR>

移動コマンド

前方キャラクタへ移動する

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。

Syntax = F5nn (nn は、カーソルを前に移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

F5 の例：カーソルを前に移動し、データを送信します。



上記のバーコードのカーソルを3文字前に移動し、それ以降のバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド : **F503F10D**

F5 は「Move the cursor forward a number of characters (前方キャラクタへ移動する)」です。

03 はカーソルを移動するキャラクタ数です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は : **4567890ABCDEFGHIJ**

<CR>

後方キャラクタへ移動する

- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。

Syntax = F6nn (nn は、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

カーソルを先頭に移動する

- F7 カーソルを入カメッセージの先頭キャラクタに移動させます。

Syntax = F7

FF と F7 の例 : 1 で始まるバーコードを処理します。



1234567890ABCDEFGHIJ

1 で始まるバーコードを検索します。バーコードが一致した場合、カーソルはデータの先頭に移動し、6文字にキャリッジリターンを付加し送信します。上記のバーコードを使用します :

コマンド : **FE31F7F2060D**

FE は「Compare characters (キャラクタの比較)」です。

31 は 1 の Hex 値です。

F7 は「Move the cursor to the beginning (カーソルを先頭に移動する)」です。

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

06 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は : **123456**

<CR>

カーソルを末尾に移動する

- EA カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。Syntax = EA

検索コマンド

前方のキャラクタを検索する

- F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

F8 の例：特定のキャラクタの後に始まるバーコードデータを送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

バーコードにある「D」を検索し、「D」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します。

コマンド：**F844F10D**

F8 は「Search forward for a character (前方のキャラクタを検索する)」コマンドです。

44 は「D」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**DEFGHIJ**

<CR>

後方のキャラクタを検索する

- F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

前方の文字列を検索する

- B0 現在のカーソル位置より前方にある「s」文字列を検索し、カーソルは「s」文字列に移動します。Syntax =B0nnnnS。nnnn は文字列の長さ (9999 まで) で、s は対応する文字列の各文字の ASCII Hex 値からなっています。例えば、B0000454657374 では初めて 4 桁の文字列の文字列が登場する「Test」を前方検索します。
Dec 値、Hex 値、文字コードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

B0 の例：特定の文字列の後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「FGH」を検索し、「FGH」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**B00003464748F10D**

B0 は「前方の文字列を検索する (Search forward for a string)」コマンドです。

0003 は文字列長 (3 文字) です。

46 は「F」の Hex 値です。

47 は「G」の Hex 値です。

48 は「H」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべての文字列を送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**FGHIJ**

<CR>

後ろ方の文字列を検索する

- B1 現在のカーソル位置より後方にある「s」文字列を検索し、カーソルは「s」文字列に移動します。Syntax =B1nnnnS。nnnn は文字列の長さ (9999 まで) で、s は対応する文字列の各文字の ASCII Hex 値からなっています。例えば、B1000454657374 では初めて 4 文字列の文字列が登場する「Test」を後方検索します。
Dec 値、Hex 値、文字コードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

合致しないキャラクタの前方を検索する

- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E6xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

E6 の例：バーコードデータのはじめにある 0 を削除する



0 があるバーコードの例です。0 を無視し、それ以降のすべてのデータを送信する場合、E6 は 0 ではない最初の文字を検索し、その後のデータすべてとキャリッジリターンを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：E630F10D

E6 は「Search forward for a non-matching character (合致しないキャラクタの前方を検索する)」コマンドです。

30 は 0 の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：37692

<CR>

合致しないキャラクタの後方を検索する

- E7 現在のカーソル位置より後ろ方にある「xx」以外のキャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではないキャラクタに移動させます。Syntax = E7xx。xx は、検索キャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。
Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

その他のコマンド

キャラクタを無効にする

- FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FB コマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください
Syntax = FBnnxxyyzz は、リストにある無効キャラクタの数、
xxyy.zz は、無効にするキャラクタのリストです。

FB の例：バーコードデータのスペースを削除します。



345 678 90

スペースがあるバーコードの例です。データ送信の前にスペースを削除します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**FB0120F10D**

FB は「Suppress characters（**キャラクタを無効にする**）」です。

01 は無効にするキャラクタタイプです。

20 はスペースの Hex 値です。

F1 は「Send all characters（**すべてのキャラクタを送信する**）」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：**34567890**

<CR>

キャラクタの無効を停止する

FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。Syntax = FC

キャラクタを置き換える

E4 出力メッセージにある最大 15 桁のキャラクタをカーソルを移動せずに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。

Syntax = E4nnxx₁xx₂yy₁yy₂...zz₁zz₂ は、nn はリスト（置換される文字と置換文字）にある文字の合計数です。xx₁ は置換される文字を定義し、xx₂ は置換文字を定義します。zz₁ から zz₂ を繰り返します。

E4 の例：バーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。



1234056780ABC

ホストアプリケーションで含めたくないキャラクタを持つバーコードがある場合、E4 コマンドを使用してそれらのキャラクタを別のものに置き換えられます。この例では、上記のバーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。

コマンド：**E402300DF10D**

E4 「キャラクタを置き換える（Replace characters）」

02 は置き換えるキャラクタの合計数と置き換えるキャラクタ（0 をキャリッジリターンに置き換えるので、合計キャラクタ数は 2）です。

30 は 0 の Hex 値です。

0D はキャリッジリターンの Hex 値です。(0 に置き換わるキャラクタ)

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は : 1234

5678

ABC

<CR>

キャラクタの置き換えを停止する

E5 キャラクタの変更を停止します。Syntax = E5.

キャラクタを比較する

FE 現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを 1 つ進めます。Syntax = FExx (xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。)

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

ストリングを比較する

B2 入力メッセージにあるストリングをストリング「s」と比較します。ストリングが同じ場合は、カーソルをそのストリングの末尾まで移動させます。Syntax= B2nnnnS。nnnn はストリングの長さ (9999 まで) で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B2000454657374 は現在のカーソル位置のストリングと 4 つのキャラクタストリング「Test」を比べます。

Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-5 ページを参照してください。

数字をチェックする

EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

EC の例 : バーコードが数字で始まる場合のみデータを出力します。

数字で始まるバーコードからデータのみが許可する場合、EC コマンドを使用します。

コマンド : ECF10D

EC は「数字をチェックする (Check for a number)」コマンドです。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれた場合、 フォーマット
AB1234
トは失敗です。

このバーコードが読まれると： データ出力は：
1234AB

1234AB
<CR>

数字以外のキャラクタをチェックする

ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

ED の例：バーコードが文字で始まる場合のみデータを出力します。

文字で始まるバーコードからデータのみが許可する場合、ED コマンドを使用します。

コマンド：**EDF10D**

ED は「数字以外のキャラクタをチェックする (Check for a non-numeric character)」コマンドです。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれた場合、 フォーマット
1234AB
は失敗です。

このバーコードが読まれると： データ出力は：
AB1234

AB1234
<CR>

データを破棄する

B8 データを破棄します。例えば、キャラクタ「A」で始まる Code 128 を破棄するとします。[4-2 ページ](#)の Step 4 で、6A (Code 128) を選択し、Step 5 で 9999 (すべての長さ) を選択します。B8FE41 コマンドを入力し、「A」で始まる Code 128 バーコードのデータを破棄します。Syntax = B8。

B8 コマンドはすべての他のコマンドの後に入力してください。
B8 コマンドを使用するには、データフォーマットは要求する ([4-17 ページ参照](#)) になっている必要があります。データフォーマットが有効で、要求しない設定になっている場合、([4-18 ページ](#)) B8 フォーマットに適合するバーコードでも通常通り読み取られて、そして出

カされます。
他のデータフォーマット設定が、この B8 コマンドに影響します。4-18 ページの Data Format Non-Match Error Tone（データフォーマット非適合エラーブザー）が有効な場合、スキャナはエラーブザーを鳴らしません。逆に Data Format Non-Match Error Tone が無効になっている場合、コードの読み取りを行わないと同時に、エラーブザーもありません。

データフォーマット

データフォーマッターを無効にすると、プリフィクスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。



DFM_END.

データフォーマット 無効

読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

データフォーマット 有効、要求しない、プリフィクス/サフィックス あり

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。

データフォーマット 有効、要求しない、プリフィクス/サフィックス なし

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。

データフォーマット 要求する、プリフィクス/サフィックス あり

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、**データフォーマット非適合エラーブザー**を参照してください。

データフォーマット 要求する、プリフィクス/サフィックス なし

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合は、すべてエラーブザーが鳴らされます。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、**データフォーマット非適合エラーブザー**を参照してください。

操作は以下から1つ選んでください。初期設定 = データフォーマッタ 有効、
要求しない、プリフィクス/サフィックス あり



DFM_EN3.

データフォーマッタ 有効、
要求しない、
プリフィクス/サフィックス なし



DFM_EN4.

データフォーマッタ 要求する、
プリフィクス/サフィックス なし



DFM_EN1.

* データフォーマッタ 有効、
要求しない、
プリフィクス/サフィックス あり



DFM_EN2.

データフォーマッタ 要求する、
プリフィクス/サフィックス あり

データフォーマット非適合エラーブザー

バーコードが必要なデータフォーマットに適合しない場合、Sled は通常エラー音を鳴らします。しかし、エラーブザーを聞くことなくバーコード読み込みを続けたい場合もあります。Data Format Non-Match Error Tone Off (データフォーマット非適合エラーブザー 無効) バーコードを読み込むと、データフォーマットと一致しなかったデータは送信されず、エラーブザーもありません。非適合のバーコードがあったときにエラートーンを聞きたい場合は、Data Format Non-Match Error Tone On (データフォーマット非適合エラーブザー 有効) バーコードを読み取ってください。初期設定 = データフォーマット非適合エラーブザー 有効



DFMDEC0.

* データフォーマット非適合
エラーブザー 有効



DFMDEC1.

データフォーマット非適合
エラーブザー 無効

基準／代用データフォーマット

データフォーマットは4種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0で保存してください。それ以外のフォーマットは1、2、3のどれかで保存してください。フォーマットを使えるようにするには、以下のバーコードのいずれか1つを読み取ってください。



ALTFNM0.

基準データフォーマット



ALTFNM1.

データフォーマット1



ALTFNM2.

データフォーマット2



ALTFNM3.

データフォーマット3

データフォーマットの切り替え

一回の読み取りだけでデータフォーマットの切り替えができます。以下のバーコードを代用データフォーマットで読み取り、前記で選択したフォーマット（基準、もしくは1、2、3）へと戻します。

例えば、データフォーマット3として保存したデータフォーマットをデバイスに設定したい場合、以下の**データフォーマット1**バーコードをトリガーを引き、スキャンしてデータフォーマット1に切り替えられます。データフォーマット1でスキャンしたその次のバーコードはデータフォーマット3に切り替えられます。



VSAF_1.

データフォーマット1へ切り替え



VSAF_3.

データフォーマット3へ切り替え



VSAF_0.

基準データフォーマットへ切り替え



VSAF_2.

データフォーマット2へ切り替え

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、6章を参照してください。

- すべてのシンボル
- Aztec コード
- 中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)
- 中国郵便漢信 (Han Xin) コード
- Codabar
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1 コンポジットシンボル
- GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)
- GS1 データバー限定型 (リミテッド)
- GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)
- GS1 エミュレーション
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5 (ITF)
- 韓国郵便
- Matrix 2 of 5
- Maxi コード
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- 2次元郵便コード
- 郵便コード - 1次元
- PDF417
- GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)
- QR コード
- Straight 2 of 5 IATA (2 パースタート / ストップ)
- Straight 2 of 5 Industrial (3 パースタート / ストップ)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- Trioptic コード
- UPC-A
- UPC-A/EAN-13 拡張クーポンコード付
- UPC-E0
- UPC-E1

すべてのシンボル

お使いの Sled で可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、**すべてのシンボル 有効**を読み取ります。一方、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、All Simbologies Off (すべてのシンボル 無効)を読み取り、その後 特定のシンボルに対して有効 バーコードを読み取ります。



ALLENA1.

すべてのシンボル 有効



ALLENA0.

すべてのシンボル 無効

注意：すべてのシンボル 有効を読み取っても、2次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2次元郵便コードについては、別に設定してください。

読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、読み取り桁数を設定できます。読み取ったバーコードのデータ桁数が指定した読み取り桁数と一致しない場合、エラーブザーが鳴ります。Sled に強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

例： 桁数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。例：文字数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。

最小：09、最大：20

例： 桁数が 15 のバーコードだけをデコードする。

最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** の読み取り桁数の数値と **Save** (保存) のバーコードを読み取ります。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar

【Codabar すべての設定を初期化】



CBRDFT.

Codabar 有効 / 無効



CBRENA1.

* 有効



CBRENA0.

無効

Codabar スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。

初期設定 = Don't Transmit (送信しない)



CBRSSX1.

送信する



CBRSSX0.

* 送信しない

Codabar チェックキャラクタ

Codabar チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いた Codabar のバーコードだけを読み取るよう、Sled を設定できます。初期設定値 = No Check Character (チェックキャラクタなし)

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit (認証および送信) に設定すると、Sled はチェックキャラクタが印刷された Codabar のみ読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit（認証、送信しない）に設定すると、チェックキャラクタと共に印刷された Codabar バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。



CBRCK20.

* チェックキャラクタなし



CBRCK21.

モジュラス 16 有効、
送信しない



CBRCK22.

モジュラス 16 有効、
送信する

Codabar の連結

Codabar には、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと、「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接する Codabar を検索します。この場合、2 つのデータは 1 つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。



A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

連結されていない単独の「D」Codabar をデコードしないようにするには、Required（要求する）を選択します。この選択をしても、「D」のスタート/ストップキャラクタがない Codabar には影響ありません。



CBRCC1.

有効



CBRCC0.

* 無効



CBRCC2.

要求する

Codabar の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#)（5-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 60、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 60。



CBRMIN.

最小読み取り桁数



CBRMAX.

最大読み取り桁数

Code 39

【Code 39 すべての設定を初期化】



C39DFT.

Code 39 有効 / 無効



C39ENA1.

* 有効



C39ENA0.

無効

Code 39 スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定値 = Don't Transmit (送信しない)



C39SSX1.

送信する



C39SSX0.

* 送信しない

Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタと読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit（有効、送信する）に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。初期設定値 = No Check Character（チェックキャラクタなし）



C39CK20.

* チェックキャラクタなし



C39CK21.

有効、送信しない



C39CK22.

有効、送信する

Code 39 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#)（5-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 48、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 48。



C39MIN.

最小読み取り桁数



C39MAX.

最大読み取り桁数

Code 39 連結機能

この機能では、複数の Code 39 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スペースで始まる Code 39（スタート/ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。バーコードを読み取った順にデータを保存

し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 39 バーコードを読み取ると、Sled は結合したデータをホストデバイスに送信します。初期設定 = 無効



C39APP1.

有効



C39APP0.

* 無効

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます。

注意 : Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic Code (5-41 ページ) を必ず無効にしてください。



C39B321.

有効



C39B320.

* 無効

Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例：「\$V」はASCIIキャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。初期設定 = 無効

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF \$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- -	= %H	M M] %M	m +M	} %R
SO \$N	RS %D	. .	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。
「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASCII.
Full ASCII 有効



C39ASCII.
* Full ASCII 無効

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO

646 キャラクタ変換 A-10 ページ参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C39DCP.

Code 39 コードページ

Interleaved 2 of 5 (ITF)

【Interleaved 2 of 5 すべての設定を初期化】



I25DFT.

Interleaved 2 of 5 の有効 / 無効



I25ENA1.

* 有効



I25ENA0.

無効

Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なく Sled がバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



I25CK20.

* チェックデジット 無効



I25CK21.

有効、送信しない



I25CK22.

有効、送信する

Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



I25MIN.

最小読み取り桁数



I25MAX.

最大読み取り桁数

NEC 2 of 5

【NEC 2 of 5 すべての設定を初期化】



N25DFT.

NEC 2 of 5 有効 / 無効



N25ENA1.

* 有効



N25ENA0.

無効

チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なく Sled がバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



N25CK20.

* チェックデジット 無効



N25CK21.

有効、送信しない



N25CK22.

有効、送信する

NEC 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



N25MIN.

最小読み取り桁数



N25MAX.

最大読み取り桁数

Code 93

【Code 93 すべての設定を初期化】



C93DFT.

Code 93 有効 / 無効



C93ENA1.

* 有効



C93ENA0.

無効

Code 93 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 80、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 80。



C93MIN.

最小読み取り桁数



C93MAX.

最大読み取り桁数

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (ISO

2022/ISO 646 キャラクタ変換 A-10 ページ参照)、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と Save (保存) のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C93DCP.

Code 93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート/ストップ)

【 Straight of 5 Industrial すべての設定を初期化 】



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrial 有効/無効



R25ENA1.

有効



R25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について読み取り桁数について (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



R25MIN.

最小読み取り桁数



R25MAX.

最大読み取り桁数

Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート/ストップ)

【 IATA すべての設定を初期化 】



A25DFT.

Straight 2 of 5 IATA 有効 / 無効



A25ENA1.

有効



A25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



A25MIN.

最小読み取り桁数



A25MAX.

最大読み取り桁数

Matrix 2 of 5

【Matrix 2 of 5 すべての設定を初期化】



X25DFT.

Matrix 2 of 5 有効 / 無効



X25ENA1.

有効



X25ENA0.

* 無効

Matrix 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#)（5-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



X25MIN.

最小読み取り桁数



X25MAX.

最大読み取り桁数

Code 11

【Code 11 すべての設定を初期化】



C11DFT.

Code 11 有効 / 無効



C11ENA1.

有効



C11ENAD.

* 無効

チェックデジットの要求

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを1つまたは2つに設定します。初期設定値 = Two Check Digits (チェックデジット2つ)



C11CK20.

チェックデジット1つ



C11CK21.

* チェックデジット2つ

Code 11 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



C11MIN.

最小読み取り桁数



C11MAX.

最大読み取り桁数

Code 128

【 Code 128 すべての設定を初期化 】



128DFT.

Code 128 有効 / 無効



128ENA1.

* 有効



128ENA0.

無効

ISBT 128 連結機能

1994 年、国際輸血学会 (ISBT) は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことから Code 128 の使用を現在は推奨すること、3) 隣接シンボルの連結をサ

ポートする Code 128 の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン/オフします。初期設定 = 無効



ISBENA1.

有効



ISBENA0.

* 無効

Code 128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 90、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 90。



128MIN.

最小読み取り桁数



128MAX.

最大読み取り桁数

Code 128 の連結

この機能では、複数の Code 128 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スペースで始まる Code 128 (スタート/ストップシンボルを除く) を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 128 バーコードを読み取ると、Sled は結合したデータをホストデバイスに送信します。初期設定 = 有効



C39APP1.

* 有効



C39APP0.

無効

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（[ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#) A-10 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save（保存）** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



128DCP.

Code 128 コードページ

GS1-128

【GS1-128 すべての設定を初期化】



GS1DFT.

GS1-128 有効 / 無効



GS1ENA1.

* 有効



GS1ENAD.

無効

GS1-128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 80。



GS1MIN.

最小読み取り桁数



GS1MAX.

最大読み取り桁数

Telepen

【Telepen すべての設定を初期化】



Telepen 有効 / 無効



Telepen 出力

AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力) を使用すると、Sled はスタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、標準の Full ASCII (スタート / ストップパターン 1) としてデコードします。Original Telepen Output (オリジナル Telepen 出力) を選択すると、スタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、オプションの Full ASCII (スタート / ストップパターン 2) を含む圧縮された数値としてデコードします。初期設定 = AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力)



Telepen 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 60、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 60。



TELMIN.

最小読み取り桁数



TELMAX.

最大読み取り桁数

UPC-A

【UPC-A すべての設定を初期化】



UPADFT.

UPC-A 有効 / 無効



UPAENA1.

* 有効



UPAENA0.

無効

注意 : UPC-A バーコードを EAN-13 に変換するには、[UPC-A から EAN-13 への変換](#) 5-32 ページを参照してください。

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



UPACKX1.

* 有効



UPACKX0.

無効

UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を送信しますが、送信ないように設定できます。初期設定 = 有効



UPANSX1.

* 有効



UPANSX0.

無効

UPC-A アドオン

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。

初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 禁止)



UPAAD21.
アドオン 2 桁許可



UPAAD20.
* アドオン 2 桁禁止



UPAAD51.
アドオン 5 桁許可



UPAAD50.
* アドオン 5 桁禁止

UPC-A アドオンの要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、Sled はアドオンのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。5-26 ページに記載された 2 桁または 5 桁のアドオンを有効にする必要があります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPAARQ1.
要求する



UPAARQ0.
* 要求しない

UPC-A アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。

初期設定 = 有効



UPAADS1.

* 有効



UPAADS0.

無効

UPC-A/EAN-13

拡張クーポンコード付

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。もし初期設定（無効）のままにしておくと、Sled はクーポンコードと拡張クーポンコードを1つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation（連結許可）コードを読み取ると、Sled がクーポンコードと拡張クーポンコードを1つの読み取りで認識した場合、どちらも別々のシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取ったはじめのクーポンコードを送信します。

Require Concatenation（連結必須）コードを読み取ると、Sled はクーポンコードと拡張クーポンコードを1つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読めない限り、データは出力されません。

初期設定 = 無効



CPNENA0.

* 無効



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

UPC-E0

【UPC-E0 すべての設定を初期化】



UPEDFT.

UPC-E0 有効 / 無効

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1](#) (5-31 ページ) を使用します。初期設定 = 有効



UPEEND01.

* UPC-E0 有効



UPEEND00.

UPC-E0 無効

UPC-E0 拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。
初期設定 = 無効



UPEEXP1.

有効



UPEEXP0.

* 無効

UPC-E0 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、Sled はアドオンのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPEARQ1.

要求する



UPEARQ0.

* 要求しない

UPC-E0 アドオンセパレーター

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。

初期設定 = 有効



UPEADS1.

* 有効



UPEADS0.

無効

UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



UPECKX1.

* 有効



UPECKX0.

無効

UPC-E0 システム番号

UPC-A シンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-E の拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。送信を防ぐには OFF（無効）をスキャンします。初期設定 = 有効



UPENSX1.

* 有効



UPENSXD.

無効

UPC-E0 アドオン

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。

初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について無効



UPEAD21.

アドオン 2 桁許可



UPEAD20.

* アドオン 2 桁禁止



UPEAD51.

アドオン 5 桁許可



UPEAD50.

* アドオン 5 桁禁止

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、**UPC-E0** (5-28 ページ) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 On (UPC-E1 有効) を選択してください。初期設定 = 無効



UPEEN11.
UPC-E1 有効



UPEEN10.
* UPC-E1 無効

EAN/JAN-13

【EAN/JAN-13 すべての設定を初期化】



E13DFT.

EAN/JAN-13 有効 / 無効



E13ENA1.

* 有効



E13ENA0.

無効

UPC-A から EAN-13 への変換

UPC-A Converted to EAN-13 (UPC-A から EAN-13 への変換) が選択されると、UPC-A バーコードは EAN-13 コードの前に 0 を付加し、13 桁に変換されます。Do not Convert UPC-A (UPC-A の変換禁止) が選択されると、UPC-A コードは UPC-A として読まれます。



UPAENA0.

UPC-A から EAN-13 への変換



UPAENA1.

* UPC-A の変換禁止

EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



E13CKX1.

* 有効



E13CKX0.

無効

EAN/JAN-13 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



E13AD21.

アドオン 2 桁許可



E13AD20.

* アドオン 2 桁禁止



E13AD51.

アドオン 5 桁許可



E13AD50.

* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-13 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキヤナはアドオンのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



E13ARQ1.

要求する



E13ARQ0.

* 要求しない

EAN/JAN-13 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = 有効



E13ADS1.

* 有効



E13ADS0.

無効

注意：拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、[UPC-A/EAN-13 拡張クーポンコード付 \(5-27 ページ\)](#) を参照してください。

ISBN 変換

ISBN は EAN-13 バーコードを用いて本にプリントされているものです。EAN-13 Bookland シンボルを同等の ISBN 番号フォーマットに変換するには、下の On バーコードを読み取ってください。初期設定 = 無効



E13ISB1.

有効



E13ISB0.

* 無効

EAN/JAN-8

【EAN/JAN-8 すべての設定を初期化】



EA8DFT.

EAN/JAN-8 有効 / 無効



EA8ENA1.

* 有効



EA8ENA0.

無効

EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



EA8CKX1.

* 有効



EA8CKX0.

無効

EAN/JAN-8 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。

初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



EA8AD21.

アドオン 2 桁許可



EA8AD20.

* アドオン 2 桁禁止



EA8AD51.

アドオン 5 桁許可



EA8AD50.

* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-8 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not

Required (要求しない)



EA8ARQ1.

要求する



EA8ARQ0.

* 要求しない

EAN/JAN-8 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。

初期設定 = 有効



EA8ADS1.

* 有効



EA8ADSO.

無効

MSI

【MSI すべての設定を初期化】



MSIDFT.

MSI 有効 / 無効



MSIENA1.

有効



MSIENAO.

* 無効

MSI チェックキャラクタ

MSI バーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI バーコードを読み取るように Sled を設定できます。初期設定 = *Validate Type 10, but Don't Transmit* (タイプ 10 有効、送信しない)

Validate Type 10/11 and Transmit (タイプ 10/11 有効、送信する) に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit (タイプ 10/11 有効、送信しない) に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。



MSICLK0.

* タイプ 10 有効、送信なし



MSICLK1.

タイプ 10 有効、送信あり



MSICLK2.

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、
送信なし



MSICLK3.

タイプ 10 有効、2 キャラクタ、
送信あり



MSICLK4.

タイプ 10、そしてタイプ 11 有
効、送信なし



MSICLK5.

タイプ 10 有効、
タイプ 11、送信あり



MSICLK6.

MSI チェックキャラクタ無効

MSI 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 4 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



MSIMIN.

最小読み取り桁数



MSIMAX.

最大読み取り桁数

GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)

【GS1 データバー標準型 すべての設定を初期化】



RSSDFT.

GS1 DataBar 標準型有効 / 無効



RSSENA1.

* 有効



RSSENA0.

無効

GS1 データバー限定型 (リミテッド)

【GS1 データバー限定型 すべての設定を初期化】



RSLDFT.

GS1 データバー限定型有効 / 無効



RSLENA1.

* 有効



RSLENA0.

無効

GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)

【GS1 データバー拡張型 すべての設定を初期化】



RSEDFT.

GS1 DataBar 拡張型有効 / 無効



RSEENA1.

* 有効



RSEENAD.

無効

GS1 データバー拡張型 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 4 ~ 74、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 74。



RSEMIN.

最小読み取り桁数



RSEMAX.

最大読み取り桁数

Trioptic コード

注意 : Code 32 Pharmaceutical のバーコード (5-8 ページ) を読み取るときは、Trioptic コードを無効に設定してください。

Trioptic コードとは磁気記憶媒体のラベリングに用いられるものです。



TRIENA1.

有効



TRIENA0.

* 無効

Codablock A

【Codablock A すべての設定を初期化】



CBADFT.

Codablock A 有効 / 無効



CBAENA1.

有効



CBAENA0.

* 無効

Codablock A 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 600、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 600。



CBAMIN.

最小読み取り桁数



CBAMAX.

最大読み取り桁数

Codablock F

【Codablock F すべての設定を初期化】



CBFDF.T.

Codablock F 有効 / 無効



CBFENA1.

有効



CBFENAD.

* 無効

Codablock F 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2048、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2048。



CBFMIN.

最小読み取り桁数



CBFMAX.

最大読み取り桁数

PDF417

【PDF417 すべての設定を初期化】



PDFDFT.

PDF417 有効 / 無効



PDFENA1.

* 有効



PDFENA0.

無効

PDF417 Message Length

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2750、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2750。



PDFMIN.

最小読み取り桁数



PDFMAX.

最大読み取り桁数

MicroPDF417

【MicroPDF417 すべての設定を初期化】



MPDDFT.

MicroPDF417 有効 / 無効



MPDENA1.

有効



MPDENA0.

* 無効

MicroPDF417 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 366、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 366。



MPDMIN.

最小読み取り桁数



MPDMAX.

最大読み取り桁数

GS1 コンポジットシンボル

リニアコードと固有の 2D 合成成分とが複合され、GS1 コンポジット シンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。GS1 コンポジット シンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。



COMENA1.

有効



COMENA0.

* 無効

UPC/EAN バージョン

UPC または EAN 1 次元バーコードを含む GS1 コンポジット シンボルをデコードするときは、**UPC/EAN Version On** (UPC/EAN バージョン 有効) を読み取ります。(GS1-128、もしくは GS1 バーコードを含む GS1 コンポジットシンボルには影響しません。)



COMUPC1.

UPC/EAN Version 有効



COMUPC0.

* UPC/EAN Version 無効

GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2435、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2435。



COMMIN.

最小読み取り桁数



COMMAX.

最大読み取り桁数

GS1 エミュレーション

Sled は任意の GS1 データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の GS1-128 もしくは GS1 データバーシンボルでデコードされる内容をエミュレートすることができます。GS1 データキャリアには UPC-A、UPC-E、EAN-13 ならびに EAN-8、ITF-14、GS1-128 ならびに GS1-128 データバーと GS1 コンボジットがあります。(GS1 データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。)

「GS1-128 エミュレーション」を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID、]C1 となります。(シンボルチャート A-1 ページ参照)

「GS1 データバーエミュレーション」を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1- データバー AIM ID、]em となります。(シンボルチャート A-1 ページ参照)

IGS1 Code Expansion Off (GS1 コード エミュレーション 無効) を読み取ると、小売コード拡張が無効となり、UPC-E 拡張は UPC-E0 拡張 **UPC-E0 拡張** (5-28 ページ) 設定によって制御されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID、]C1 となります。(シンボルチャート A-1 ページ参照)

「EAN8 から EAN13 へ変換」を読み取ると、すべての EAN8 バーコードは EAN13 フォーマットに転換されます。

初期設定 = GS1 Emulation Off (GS1 エミュレーション 無効)



EANEMU1.

GS1-128 エミュレーション



EANEMU2.

GS1 データバーエミュレーション



EANEMU3.

GS1 コード拡張 無効



EANEMU4.

EAN8 から EAN13 へ変換



EANEMU0.

* GS1 エミュレーション 無効

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のバーコード部分と MicroPDF417 のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにも Code39 バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417 の部分をデコードできるのは TLC39 On (TLC39 有効) に設定したときだけです。MicroPDF417 の成分をデコードできるのは、**TLC39 On** (TLC39 有効) に設定したときだけです。リニア成分は、TLC39 がオフでも Code39 としてデコードできます。初期設定 = 無効



T39ENA1.

有効



T39ENA0.

* 無効

QR コード

【QR コード すべての設定を初期化】



QRCDFT.

QR コード 有効 / 無効

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。



QRCENA1.

* 有効



QRCENA0.

無効

QR コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 7089、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 7089。



QRMIN.
最小読み取り桁数



QRMAX.
最大読み取り桁数

Data Matrix

【Data Matrix すべての設定を初期化】



IDMDFT.

Data Matrix 有効 / 無効



IDMENA1.

* 有効



IDMENA0.

無効

Data Matrix 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 3116、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 3116。



IDMMIN.

最小読み取り桁数



IDMMAX.

最大読み取り桁数

Data Matrix 連結機能

この機能では、複数の Data Matrix コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Data Matrix コードを読み取ると、Data Matrix コードに含まれた情報に

従って、決められた数量の Data Matrix コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = 有効



IDMAPP1.

* 有効



IDMAPPO.

無効

Data Matrix コードページ

Data Matrix コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (ISO 2022/ISO 646 [キャラクタ変換 A-10](#) ページ参照)、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から値と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



IDMDCP.

Data Matrix コードページ

Maxi コード

【Maxi コード すべての設定を初期化】



MAXDFT.

Maxi コード有効/無効



MAXENA1.

有効



MAXENAD.

* 無効

Maxi コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について [読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 150、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 150。



MAXMIN.

最小読み取り桁数



MAXMAX.

最大読み取り桁数

Aztec コード

【Aztec コード すべての設定を初期化】



AZTDFT.

Aztec コード有効 / 無効



AZTENA1.

* 有効



AZTENAD.

無効

Aztec コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 3832、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 3832。



AZTMIN.

最小読み取り桁数



AZTMAX.

最大読み取り桁数

Aztec 連結機能

この機能では、複数の Aztec コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Aztec コードを読み取ると、Aztec コードに含まれた情報に従って、決められた

数量の Aztec コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。*初期設定 = 有効*



AZTAPP1.

* 有効



AZTAPP0.

無効

Aztec コードページ

Aztec コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO 646 [キャラクタ変換 A-10](#) ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.

Aztec コードページ

中国郵便漢信 (Han Xin) コード

【漢信コード すべての設定を初期化】



HX_DFT.

漢信コード有効 / 無効



HX_ENA1.

有効



HX_ENA0.

* 無効

漢信コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 7833、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 7833。



HX_MIN.

最小読み取り桁数



HX_MAX.

最大読み取り桁数

2次元郵便コード

以下は、読み込み可能な2次元郵便コードと2次元郵便コードの組み合わせです。1つの2次元郵便コードしか有効にできません。2つ目の郵便コード設定を有効にすると場合、初めの設定は上書きされます。*初期設定 = 2D Postal Codes Off (2次元郵便コード 無効)*



POSTAL0.

* 2次元郵便コード 無効

2次元郵便コード (単独)



POSTAL7.

英国郵便 有効



POSTAL10.

インテリジェントメール 有効



POSTAL4.

KIX 有効



POSTAL9.

Postal-4i 有効



POSTAL1.

オーストラリア郵便 有効



POSTAL30.

カナダ郵便 有効



POSTAL3.

日本郵便 有効



POSTAL5.

Planet コード 有効

*Planet コード チェックデ
ジット、5-59 ページを参照
してください。*



POSTAL6.

Postnet 有効

Postnet チェックデジット、
5-59 ページを参照してください。



POSTAL11.

Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL2.

InfoMail 有効

2次元郵便コード (組み合わせ)



POSTAL20.

インテリジェントメールバーコード、
Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL8.

Infomail および英国郵便
有効



POSTAL14.

Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL16.

Postnet および
インテリジェントメール
バーコード 有効



POSTAL17.

Postal-4i および
インテリジェントメール
バーコード 有効



POSTAL19.

Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL12.

Planet コード
Postnet コード 有効



POSTAL18.

Planet コード
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL15.
Planet コード
インテリジェントメール
バーコード 有効



POSTAL22.
Planet コード
Postnet および
インテリジェントメールバーコード
有効



POSTAL24.
Postnet,
Postal-4i および
インテリジェントメールバーコード
有効



POSTAL26.
Planet コード、
インテリジェントメールコード、
Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL28.
Planet コード、
Postal-4i および
インテリジェントメール コード、
Postnet 有効



POSTAL13.
Planet コード
Postal-4i 有効



POSTAL21.
Planet コード、
Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL23.
Planet コード、
Postal-4i および
インテリジェントメールバーコード
有効



POSTAL25.
Planet コード、
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL27.
Postal-4i、
インテリジェントメールコード、
Postnet B および B' フィールド
有効



POSTAL29.
Planet コード、
Postal-4i および
インテリジェントメールコード、
Postnet B および B' フィールド 有効

Planet コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



PLNCKX1.

チェックデジットを送信する



PLNCKXD.

* チェックデジットを送信しない

Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



NETCKX1.

チェックデジットを送信する



NETCKXD.

* チェックデジットを送信しない

郵便コード - 1 次元

1次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる1次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)

【中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) すべての設定を初期化】



CPCDFT.

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 有効/無効



CPCENA1.

有効



CPCENA0.

*無効

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#) (5-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



CPCMIN.

最小読み取り桁数



CPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便

【韓国郵便コード すべての設定を初期化】



KPCDFT.

韓国郵便



KPCENA1.

有効



KPCENA0.

* 無効

韓国郵便 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について[読み取り桁数について](#)（5-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



KPCMIN.

最小読み取り桁数



KPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



KPCCHK1.

チェックデジットを送信する



KPCCHK0.

* チェックデジットを送信しない



シリアルプログラミングコマンド

注意：本項は、開発者の参照用です。

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらも Sled をプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS232 インタフェース用に設定する必要があります。以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

Parameter コマンドの一部として送信する実際の値

[option] コマンドのオプション部分

{Data} コマンド内の選択肢

Bold 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス (構文)

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。)

Prefix	3 つの ASCII のキャラクタ : SYN M CR (ASCII 22、77、13) SYN M CR (ASCII 22,77,13)
Tag	メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS-232 の環境設定は、すべて 232 という Tag で識別されます。
SubTag	タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字・小文字の区別がない 3 キャラクタのフィールド。例えば、RS-232 のボーレートの SubTag は BAD です。
Data	メニュー設定の新規値。Tag と SubTag で識別されます。
Storage	コマンドを適用するストレージテーブルを指定する 1 つのキャラクタ。感嘆符 (!) は、機器の一時的なメモリ上でのコマンド操作を実行します。ピリオド (.) の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、起動時に保存したい半恒久的な変更の場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

- ^ 設定の初期値
- ? 機器の現在の設定値
- * 設定で可能な範囲（機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: フィールドの使い方 (オプション)

このコマンドを用いると、Sled からの質問情報を返送します。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

サブTag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data フィールドの使い方

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しくコマンドを実行した。

ENQ Tag または SubTag コマンドが無効。

NAK コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの Tag および SubTag 組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けられないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている場合。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ [] は非表示レスポンスを示します。

Example: 例：Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力： **cbrena*.**

レスポンス **CBRENA0-1[ACK]**

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ~ 1 (オフとオン)であることを示します。

Example: Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力： **cbrena^.**

レスポンス **CBRENA1[ACK]**

Codabar Coding Enable (CBRENA) のデフォルト設定が 1 またはオンであることを示しています。

Example: 例：Codabar Coding Enable のデフォルト値は？

入力： **cbrena?.**

レスポンス **CBRENA1[ACK]**

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定されていることを示します。

Example: 例：すべての Codabar 選択項目に対する機器の設定は？

入力： **cbr?.**

レスポンス **CBRENA1[ACK],**
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK].

このレスポンスは、機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1 または有効に設定され
スタート/ストップキャラクタ (SSX) は 0、または Don't Transmit に、

チェックキャラクタ (CK2) は 0、または Not Required に、
連結機能 (CCT) は 1、または Enabled に、
最小読み取り桁数 (MIN) は 2 キャラクタに、
最大読み取り桁数 (MAX) は 60 キャラクタに、
またデフォルト設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

標準の製品初期設定へのリセット

ご使用の Sled でカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults (カスタムデフォルトを起動) バーコードを読み取ってください。これで Sled は工場出荷時の設定にリセットされます。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

次ページ以降のチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページ上アスタリスク (*) で表示) の標準の工場出荷時設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
製品初期設定			
カスタムデフォルト の設定	カスタムデフォルト の設定	MNUCDF	1-3
	カスタムデフォルト の保存	MNUCDS	1-3
初期設定への リセット	カスタムデフォルト を起動	DEFAULT	1-3
初期設定の再設定	カスタムデフォルト の削除	DEFOVR	1-4
	デフォルトの有効化	DEFAULT	1-4
入力・出力設定			
読み取り成功時 ブザー	無効	BEPBEP0	2-1
	* 有効	BEPBEP1	2-1
読み取り成功時 ブザー：音量	無効	BEPLVL0	2-1
	小	BEPLVL1	2-1
	中	BEPLVL2	2-1
	* 大	BEPLVL3	2-1
マニュアルトリガー モード	マニュアルトリ ガー - 標準	PAPHHF	2-2
携帯端末読み取り モード	手持ち読み取り 携 帯端末	PAPHHC	2-2
センタリング ウィンドウ	センタリング 有効	DECWIN1	2-3
	* センタリング 無効	DECWIN0	2-4
	センタリングウィン ドウ 左 (*40%)	DECLFT###	2-4
	センタリングウィン ドウ 右 (*60%)	DECRGT###	2-4
	センタリングウィン ドウ 上 (*40%)	DECTOP###	2-4
	センタリングウィン ドウ 左 (*60%)	DECBOT###	2-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
優先シンボル	有効	PRFENA1	2-5
	* 無効	PRFENA0	2-5
	高優先度シンボル	PRFCOD##	2-5
	低優先度シンボル	PRFBLK##	2-6
	優先シンボルタイムアウト *500 ミリ秒 (範囲 100- 3000 ミリ秒)	PRFPTO#####	2-6
	優先シンボルの デフォルト	PRFDFT	2-6
アウトプット シーケンスエディタ	シーケンスの入力	SEQBLK	2-9
	シーケンスの デフォルト	SEQDFT	2-9
パーティカル シーケンス	パーティカルシーケ ンスの送信	SEQTTS1	2-10
	* パーティカルシー ケンスの破棄	SEQTTS0	2-10
アウトプット シーケンス要求	要求する	SEQ_EN2	2-10
	有効、要求しない	SEQ_EN1	2-10
	* 無効	SEQ_EN0	2-10
複数シンボル	有効	SHOTGN1	2-11
	* 無効	SHOTGN0	2-11
No Read	有効	SHWNRD1	2-11
	* 無効	SHWNRD0	2-11
ビデオリバース (反転コード)	反転コードのみ有効	VIDREV1	2-12
	反転および 標準コード	VIDREV2	2-12
	* 反転バーコード 無効	VIDREV0	2-12
データ編集設定			
すべてのシンボルに CR サフィックスを付加		VSUF CR	3-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
プリフィクス	プリフィクスの追加	PREBK2##	3-4
	1つのプリフィクスを削除	PRECL2	3-4
	すべてのプリフィクスを削除	PRECA2	3-4
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	3-4
	1つのサフィックスを削除	SUFCL2	3-4
	すべてのサフィックスを削除	SUFCA2	3-4
ファンクション コード送信	* 有効	RMVFNC0	3-5
	無効	RMVFNC1	3-5
データフォーマッターの設定			
データフォーマット エディタ	* データフォーマットの初期化 (なし)	DFMDF3	4-1
	データフォーマットの入力	DFMBK3##	4-3
	1つのデータフォーマットの削除	DFMCL3	4-4
	すべてのデータフォーマットの削除	DFMCA3	4-4

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
データフォーマット	データフォーマット 無効	DFM_EN0	4-17
	* データフォーマット 有効、 要求しない、 プリフィクス/サ フィックス あり	DFM_EN1	4-18
	データフォーマット 要求する、 プリフィクス/サ フィックス あり	DFM_EN2	4-18
	データフォーマット 有効、 要求しない、 プリフィクス/サ フィックス なし	DFM_EN3	4-18
	データフォーマット 要求する、 プリフィクス/サ フィックス なし	DFM_EN4	4-18
データフォーマット 非適合エラーブザー	* データフォーマット 非適合エラーブ ザー 有効	DFMDEC0	4-18
	データフォーマット 非適合エラーブザー 無効	DFMDEC1	4-18
基準・代用データ フォーマット	基準データフォー マットの使用	ALTFNM0	4-19
	データフォーマット 1	ALTFNM1	4-19
	データフォーマット 2	ALTFNM2	4-19
	データフォーマット 3	ALTFNM3	4-19

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
データフォーマットの切り替え	基準データフォーマットへ切り替え データフォーマット	VSAF_0	4-20
	データフォーマット 1へ切り替え	VSAF_1	4-20
	データフォーマット 2へ切り替え	VSAF_2	4-20
	データフォーマット 3へ切り替え	VSAF_3	4-20
シンボル			
すべてのシンボル	すべてのシンボル 無効	ALLENA0	5-2
	すべてのシンボル 読み取り許可	ALLENA1	5-2
Codabar	すべての設定を 初期化	CBRDFT	5-3
	無効	CBRENA0	5-3
	* 有効	CBRENA1	5-3
Codabar スタート/ ストップキャラクタ	* 送信しない	CBRSSX0	5-3
	送信する	CBRSSX1	5-3
Codabar チェック キャラクタ	* チェックキャラクタなし	CBRCK20	5-4
	振動、送信しない	CBRCK21	5-4
	有効、送信する	CBRCK22	5-4
Codabar の連結	* 無効	CBRCCT0	5-4
	有効	CBRCCT1	5-4
	要求する	CBRCCT2	5-4
Codabar 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 60) * 4	CBRMIN##	5-5
	最大読み取り桁数 (2 - 60) * 60	CBRMAX##	5-5

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Code 39	すべての設定を 初期化	C39DFT	5-6
	無効	C39ENA0	5-6
	* 有効	C39ENA1	5-6
Code 39 Start/Stop Char.	* 送信しない	C39SSX0	5-6
	送信する	C39SSX1	5-6
Code 39 Check Char.	* チェック キャラクタなし	C39CK20	5-7
	有効、送信しない	C39CK21	5-7
	有効、送信する	C39CK22	5-7
Code 39 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 48) * 0	C39MIN##	5-7
	最大読み取り桁数 (0 - 48) * 48	C39MAX##	5-7
Code 39 の連結	* 無効	C39APP0	5-8
	有効	C39APP1	5-8
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	* 無効	C39B320	5-8
	有効	C39B321	5-8
Code 39 Full ASCII	* 無効	C39ASC0	5-9
	有効	C39ASC1	5-9
	Code 39 コードページ	C39DCP	5-10
Interleaved 2 of 5	すべての設定を 初期化	I25DFT	5-10
	無効	I25ENA0	5-10
	* 有効	I25ENA1	5-10
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	* チェック キャラクタなし	I25CK20	5-11
	有効、送信しない	I25CK21	5-11
	有効、送信する	I25CK22	5-11

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Interleaved 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) * 4	I25MIN##	5-11
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	I25MAX##	5-11
NEC 2 of 5	すべての設定を 初期化	N25DFT	5-12
	無効	N25ENA0	5-12
	* 有効	N25ENA1	5-12
NEC 2 of 5 チェック デジット	* チェックキャラクタなし	N25CK20	5-12
	有効、送信しない	N25CK21	5-12
	有効、送信する	N25CK22	5-12
NEC 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) * 4	N25MIN##	5-13
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	N25MAX##	5-13
Code 93	すべての設定を 初期化	C93DFT	5-14
	無効	C93ENA0	5-14
	* 有効	C93ENA1	5-15
Code 93 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	C93MIN##	5-14
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	C93MAX##	5-14
	Code 93 コードページ	C93DCP	5-15
Straight 2 of 5 Industrial	すべての設定を 初期化	R25DFT	5-15
	* 無効	R25ENA0	5-15
	有効	R25ENA1	5-15

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	R25MIN##	5-15
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	R25MAX##	5-15
Straight 2 of 5 IATA	すべての設定を 初期化	A25DFT	5-16
Straight 2 of 5 IATA (2 パースタート / ス トップ)	* 無効	A25ENA0	5-16
	有効	A25ENA1	5-16
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	A25MIN##	5-16
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	A25MAX##	5-16
Matrix 2 of 5	すべての設定を初期 化 設定	X25DFT	5-17
	* 無効	X25ENA0	5-17
	有効	X25ENA1	5-17
Matrix 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	X25MIN##	5-17
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	X25MAX##	5-17
Code 11	すべての設定を初期 化 設定	C11DFT	5-18
	* 無効	C11ENA0	5-18
	有効	C11ENA1	5-18
Code 11 チェック デジットの要求	1 チェックデジット	C11CK20	5-18
	*2 チェック デジット	C11CK21	5-18
Code 11 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	C11MIN##	5-19
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	C11MAX##	5-19

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Code 128	すべての設定を 初期化	128DFT	5-19
	無効	128ENA0	5-19
	* 有効	128ENA1	5-19
ISBT の連結	* 無効	ISBENA0	5-20
	有効	ISBENA1	5-20
Code 128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	128MIN##	5-20
	最大読み取り桁数 (0 - 90) * 80	128MAX##	5-20
Code 128 の連結	無効	C39APP0	5-20
	* 有効	C39APP1	5-20
Code 128 コードページ	Code 128 コード ページ (*2)	128DCP##	5-21
GS1-128	すべての設定を 初期化	GS1DFT	5-22
	* 有効	GS1ENA1	5-22
	無効	GS1ENA0	5-22
GS1-128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 1	GS1MIN	5-22
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	GS1MAX	5-22
Telepen	すべての設定を 初期化	TELDFT	5-23
	* 無効	TELENA0	5-23
	有効	TELENA1	5-23
Telepen 出力	*AIM Telepen 出力	TELOLD0	5-23
	オリジナル Telepen 出力	TELOLD1	5-23
Telepen 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 60) * 1	TELMIN##	5-24
	最大読み取り桁数 (1 - 60) * 60	TELMAX##	5-24

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-A	すべての設定を 初期化	UPADFT	5-24
	無効	UPAENA0	5-25
	* 有効	UPAENA1	5-25
UPC-A チェック デジット	無効	UPACKX0	5-24
	* 有効	UPACKX1	5-25
UPC-A システム番号	無効	UPANSX0	5-25
	* 有効	UPANSX1	5-25
UPC-A 2 桁の アドオン	* 無効	UPAAD20	5-26
	有効	UPAAD21	5-26
UPC-A 5 桁の アドオン	* 無効	UPAAD50	5-26
	有効	UPAAD51	5-26
UPC-A アドオン の要求	* 要求しない	UPAARQ0	5-26
	要求する	UPAARQ1	5-26
UPC-A アドオン セパレータ	無効	UPAADS0	5-27
	* 有効	UPAADS1	5-27
拡張クーポンコード 付き UPC-A/EAN-13	* 無効	CPNENA0	5-27
	連結許可	CPNENA1	5-27
	連結必須	CPNENA2	5-27
UPC-E0	すべての設定を 初期化	UPEDFT	5-28
	無効	UPEEN00	5-28
	* 有効	UPEEN01	5-28
UPC-E0 拡張	* 無効	UPEEXP0	5-28
	有効	UPEEXP1	5-28
UPC-E0 アドオンの 要求	要求する	UPEARQ1	5-29
	* 要求しない	UPEARQ0	5-29
UPC-E0 アドオン セパレータ	* 有効	UPEADS1	5-29
	無効	UPEADS0	5-29
UPC-E0 チェック デジット	無効	UPECKX0	5-29
	* 有効	UPECKX1	5-29

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-E0 Number System	無効	UPENSX0	5-30
	* 有効	UPENSX1	5-30
UPC-E0 アドオン	2 桁のアドオン 有効	UPEAD21	5-30
	* 2 桁のアドオン 無効	UPEAD20	5-30
	5 桁のアドオン 有効	UPEAD51	5-30
	* 5 桁のアドオン 無効	UPEAD50	5-30
UPC-E1	* 無効	UPEEN10	5-31
	有効	UPEEN11	5-31
EAN/JAN-13	すべての設定を 初期化	E13DFT	5-32
	無効	E13ENA0	5-32
	* 有効	E13ENA1	5-32
EAN/JAN-13 チェックデジット	無効	E13CKX0	5-33
	* 有効	E13CKX1	5-32
EAN/JAN-132 桁の アドオン	2 桁のアドオン 有効	E13AD21	5-33
	* 2 桁のアドオン 無効	E13AD20	5-33
	5 桁のアドオン 有効	E13AD51	5-33
	* 5 桁のアドオン 無効	E13AD50	5-33
EAN/JAN-13 ア ドオンの要求	* 要求しない	E13ARQ0	5-34
	要求する	E13ARQ1	5-34
EAN/JAN-13 アドオン セパレータ	無効	E13ADS0	5-34
	* 有効	E13ADS1	5-34
ISBN 変換	* 無効	E13ISB0	5-34
	有効	E13ISB1	5-34

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-8	すべての設定を 初期化	EA8DFT	5-35
	無効	EA8ENA0	5-35
	* 有効	EA8ENA1	5-35
EAN/JAN-8 チェックデジット	無効	EA8CKX0	5-35
	* 有効	EA8CKX1	5-35
EAN/JAN-8 アドオン	* 2 桁のアドオン 無効	EA8AD20	5-36
	2 桁のアドオン 有効	EA8AD21	5-36
	* 5 桁のアドオン 無効	EA8AD50	5-36
	5 桁のアドオン 有効	EA8AD51	5-36
EAN/JAN-8 アドオン の要求	* 要求しない	EA8ARQ0	5-36
	要求する	EA8ARQ1	5-36
EAN/JAN-8 アドオン セパレータ	無効	EA8ADS0	5-37
	* 有効	EA8ADS1	5-37
MSI	すべての設定を 初期化	MSIDFT	5-37
	* 無効	MSIENA0	5-37
	有効	MSIENA1	5-37

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
MSI チェック キャラクタ	* タイプ 10 有効、 送信しない	MSICHK0	5-38
	タイプ 10 有効、 送信する	MSICHK1	5-38
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、 送信しない	MSICHK2	5-38
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、 送信する	MSICHK3	5-38
	タイプ 11、そして タイプ 10 有効、 送信しない	MSICHK4	5-38
	タイプ 11、そして タイプ 10 有効、 送信する	MSICHK5	5-38
	MSI チェックキャラ クタ無効	MSICHK6	5-38
MSI 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 48) *4	MSIMIN##	5-38
	最大読み取り桁数 (4 - 48) *48	MSIMAX##	5-38
GS1 データバー 標準型 (オムニディ レクショナル)	すべての設定を 初期化 GS1 データバー 標準型設定	RSSDFT	5-39
	無効	RSSENA0	5-39
	* 有効	RSSENA1	5-39
GS1 データバー限定 型 (リミテッド)	すべての設定を 初期化	RSLDFT	5-39
	無効	RSLENA0	5-39
	* 有効	RSLENA1	5-39

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
GS1 DataBar 拡張型	すべての設定を 初期化	RSEDFT	5-40
	無効	RSEENA0	5-40
	* 有効	RSEENA1	5-40
GS1 データバー 拡張型 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 74) *4	RSEMIN##	5-40
	最大読み取り桁数 (4 - 74) *74	RSEMAX##	5-40
Trioptic Code	* 無効	TRIENA0	5-41
	有効	TRIENA1	5-41
Codablock A	すべての設定を 初期化	CBADFT	5-41
	* 無効	CBAENA0	5-41
	有効	CBAENA1	5-41
Codablock A 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 600) *1	CBAMIN###	5-42
	最大読み取り桁数 (1 - 600) *600	CBAMAX###	5-42
Codablock F	すべての設定を 初期化	CBFDFT	5-41
	* 無効	CBFENA0	5-43
	有効	CBFENA1	5-43
Codablock F 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	5-43
	最大読み取り桁数 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	5-43
PDF417	すべての設定を 初期化	PDFDFT	5-44
	* 有効	PDFENA1	5-44
	無効	PDFENA0	5-44

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2750) *1	PDFMIN	5-44
	最大読み取り桁数 (1-2750) *2750	PDFMAX	5-44
MicroPDF417	すべての設定を 初期化	MPDDFT	5-45
	有効	MPDENA1	5-45
	* 無効	MPDENA0	5-45
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-366) *1	MPDMIN	5-45
	最大読み取り桁数 (1-366) *366	MPDMAX	5-45
GS1 コンポジット シンボル	有効	COMENA1	5-46
	* 無効	COMENA0	5-46
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	5-46
	* 無効	COMUPC0	5-46
GS1 コンポジットシ ンボル 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2435) *1	COMMIN	5-46
	最大読み取り桁数 (1-2435) *2435	COMMAX	5-46
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュ レーション	EANEMU1	5-47
	GS1 データバーエ ミュレーション	EANEMU2	5-47
	GS1 コード拡張 無効	EANEMU3	5-47
	EAN8 から EAN13 へ転換	EANEMU4	5-47
	* GS1 エミュレー ション 無効	EANEMU0	5-47
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	有効	T39ENA1	5-48
	* 無効	T39ENA0	5-48

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
QR コード	すべての設定を 初期化	QRCDFT	5-55
	* 有効	QRCENA1	5-48
	無効	QRCENA0	5-48
QR コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7089) *1	QRCMIN	5-49
	最大読み取り桁数 (1-7089) *7089	QRCMAX	5-49
Data Matrix	すべての設定を 初期化	IDMDFT	5-50
	* 有効	IDMENA1	5-50
	無効	IDMENA0	5-50
Data Matrix 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3116) *1	IDMMIN	5-50
	最大読み取り桁数 (1-3116) *3116	IDMMAX	5-50
Data Matrix 連結機能	無効	IDMAPP0	5-51
	* 有効	IDMAPP1	5-51
Data Matrix コード ページ	Data Matrix コード ページ (*51)	IDMDCP##	5-51
MaxiCode	すべての設定を 初期化	MAXDFT	5-52
	* 有効	MAXENA1	5-52
	無効	MAXENA0	5-52
MaxiCode 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-150) *1	MAXMIN	5-52
	最大読み取り桁数 (1-150) *150	MAXMAX	5-52
Aztec コード	すべての設定を 初期化	AZTDFT	5-53
	* 有効	AZTENA1	5-53
	無効	AZTENA0	5-53

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Aztec コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3832) *1	AZTMIN	5-53
	最大読み取り桁数 (1-3832) *3832	AZTMAX	5-53
Aztec コード 連結機能	無効	AZTAPP0	5-54
	* 有効	AZTAPP1	5-54
Aztec コードページ	Aztec コードページ (*51)	AZTDCP##	5-54
中国郵便漢信 (Han Xin) コード	すべての設定を 初期化	HX_DFT	5-55
	有効	HX_ENA1	5-55
	* 無効	HX_ENA0	5-55
中国郵便コード (漢信コード) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7833) *1	HX_MIN	5-55
	最大読み取り桁数 (1-7833) *7833	HX_MAX	5-55
2次元郵便コード			
2次元郵便コード (単独)	* 無効	POSTAL0	5-56

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2次元郵便コード (単独)	オーストラリア郵便 有効	POSTAL1	5-56
	英国郵便 有効	POSTAL7	5-56
	カナダ郵便 有効	POSTAL30	5-56
	インテリジェント メールバーコード 有効	POSTAL10	5-56
	日本郵便 有効	POSTAL3	5-56
	KIX 有効	POSTAL4	5-56
	Planet コード 有効	POSTAL5	5-56
	Postal-4i 有効	POSTAL9	5-56
	Postnet コード有効	POSTAL6	5-57
	Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL11	5-57
	Info Mail 有効	POSTAL2	5-57
2次元郵便コード (組み合わせ)	Infomail および英国 郵便 有効	POSTAL8	5-57
	インテリジェント メールバーコード および Postnet B および B' フィールド つき 有効	POSTAL20	5-57
	Postnet および Postal-4i 有効	POSTAL14	5-57
	Postnet および イン テリジェントメール バーコード 有効	POSTAL16	5-57
	Postal-4i および イン テリジェントメール バーコード 有効	POSTAL17	5-57

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2 次元郵便コード (組み合わせ) (続き)	Postal-4i および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL19	5-57
	Planet および Postnet 有効	POSTAL12	5-57
	Planet および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL18	5-57
	Planet および Postal-4i 有効	POSTAL13	5-58
	Planet および イン テリジェントメール バーコード 有効	POSTAL15	5-58
	Planet, Postnet, お よび Postal-4i 有効	POSTAL21	5-58
	Planet, Postnet, および インテリ ジェントメール バーコード 有効	POSTAL22	5-58
	Planet, Postal-4i, およびインテリジェ ントメールバーコー ド 有効	POSTAL23	5-58
	Postnet, Postal-4i, およびインテリジェ ントメールバーコー ド 有効	POSTAL24	5-58
	Planet, Postal-4i, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL25	5-58
	Planet, インテリ ジェントメールバー コード, Postnet B および B' フィール ドつき 有効	POSTAL26	5-58

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2次元郵便コード (組み合わせ) (続き)	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet 有効	POSTAL28	5-58
	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL29	5-58
Planet Code チェックデジット	送信する	PLNCKX1	5-59
	送信しない	PLNCKX0	5-59
Postnet チェックデジット	送信する	NETCKX1	5-59
	* 送信しない	NETCKX0	5-59
1次元郵便コード*			
中国郵便コード (香港 2 of 5)	すべての設定を初期化	CPCDFT	5-59
	* 無効	CPCENA0	5-60
	有効	CPCENA1	5-60
中国郵便コード (香港 2 of 5) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	CPCMIN##	5-60
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *80	CPCMAX##	5-60
韓国郵便コード	すべての設定を初期化	KPCDFT	5-61
	* 無効	KPCENA0	5-61
	有効	KPCENA1	5-61
韓国郵便コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	KPCMIN##	5-61
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *48	KPCMAX##	5-61

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
韓国郵便コード チェックデジット	チェックデジット 送信する	KPCCHK1	5-61
	* チェックデジット 送信しない	KPCCHK0	5-61



修理

ハネウエルは認定アップルリペアセンターではありません。修理には Sled のみをお送りください。ハネウエルは、リペアセンターに送られたハネウエル製品以外のものに対して責任を負いません。

ヘルスケア筐体の清掃方法（ヘルスケア端末のみ）



ハネウエルはアップル製品の損害に対して責任がありません。アップル製品はこれらの洗浄剤によって影響を受けるため、Sled を清掃する前に取り外してください。

重要： 下記は、Sled の殺菌洗浄可能ハウジングの安全洗浄を試験・確認された洗剤の一覧です。この Sled ハウジングの洗浄を認められた洗剤は、下記一覧のみとなります。下記に記載された洗剤以外の洗剤を使用することによってスキャナが何らかのダメージを負った場合、そのダメージは保証対象外となりますのでご注意ください。

- Gentle dish soap and water
- 409® Glass and Surface Cleaner
- CaviWipes™
- Clorox® Bleach（10%）
- Isopropyl Alcohol wipes（70%）
- Sani-Cloth® HB
- Sani-Cloth® Plus
- Super Sani-Cloth®
- Virex® 256
- Windex® Blue

ケーブルとコネクタの点検

傷みやその他損傷の痕跡が無いインターフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、充電を妨げることがあります。ケーブル交換については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

トラブルシューティング

お使いの Sled が正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？赤または緑のエイミング照明ラインが点灯していますか？

エイミングラインが点灯していない場合は、以下の項目を確認してください。

- バッテリーはバッテリースロットにあります。
- バッテリーは最低 4 時間充電されています。
- Apple App StoreSM から入手した Honeywell Price Check Simulator アプリケーションがロードされているか確認してください。

シンボルの読み取りで Sled に問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。

Sled がバーコードをまったく読み取らない。

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。Sled がサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。
お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（[5 章](#)を参照。）
2. それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、"すべてのシンボル有効"5-2 ページ（すべてのシンボル 有効）を読み取ってください。

Sled で設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、[初期設定へのリセット](#) 1-4 ページのバーコードを読み取ってください。

カスタマーサポート

テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、以下の方法でご連絡ください。

ナレッジベース：www.hsmknowledgebase.com

ナレッジベースには多くの解決方法がございます。サポート情報で解決しない場合は、テクニカルサポート（以下参照）で問題のレポートまたは質問を報告してください。

テクニカルサポートポータル：www.hsmsupportportal.com

テクニカルサポートポータルは問題を報告するだけでなく、サポート情報から技術問題を検索して解決方法を提供します。ポータルにて、オンラインで質問の提出や追跡、ファイルの送受信が可能です。

ウェブフォーム：www.hsmcontactsupport.com

オンラインサポートフォームに入力することで、テクニカルサポートチームに直接コンタクトできます。お客様の情報と質問や問題の詳細を入力してください。

電話：www.honeywellaidc.com/ja-jp

F 最新の問い合わせ先は、上記のウェブサイトを確認してください。

製品のサービスと修理

ハネウェル社は、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証期間内または保証期間後の修理を受けるためには、www.honeywellaidc.com から、Support > Contact Service and Repair に進んでいただき、ご使用の地域での Return Material Authorization 番号 (RMA #) を入手する方法を確認してください。製品を返送する前に、この手順に従ってください。

条件付保証

Honeywell International Inc.（以下“ハネウェル”）は、出荷時にはその製品とアクセサリの材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用されるの公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合にはハネウェルの製品であっても対象外となります。（i）設置または使用方法が不適切。（ii）正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または（iii）以下の結果損傷した場合：（A）お客様または第三者が変更や改造を行った。（B）インタフェース接続に過大な電圧や電流がかかたり流れたりした。（C）静電気または静電気放電。（D）指定の動作パラメータを超える条件で使用した。（E）ハネウェルまたは正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、ハネウエルの出荷時点から、ご購入時に製品に対して公式にご提示した期間（「保証期間」）とします。欠陥品は、点検のために保証期間内にハネウエルの工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA（Return Material Authorization）が無ければ、ハネウエルはどんな製品も受け付けられません。RMAは、ハネウエルにご連絡いただければ取得できます。保証期間内にハネウエルまたは正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認できた場合、ハネウエルは製品を無償で修理または交換いたします。ただし、ハネウエルへの返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証によるハネウエルの賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、ハネウエルは、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じたハネウエルの賠償額は（そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく）、その製品のためにハネウエルにお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性についてが知らされていた場合であっても有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。ハネウエル提供以外の周辺機器を使用して故障した場合、保証の対象外です。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。ハネウエルは、これらの保証を製品の最初のエンドユーザーにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

製品保証情報は、www.honeywellaidc.com/warranty_information を参照してください。

シンボルチャート

注意：「m」は、AIM モディファイアのキャラクタを示します。AIM モディファイアキャラクタの詳細については、International Technical Specification の Symbology Identifiers を参照してください。

特定のシンボルに対するプリフィクス／サフィックスの入力は、汎用 (All Symbologies, 99) 入力に優先します。

コード ID と AIM ID の使用方法については、データ編集 3-1 ページとデータフォーマット 4-1 ページを参照してください。

リニアシンボル

シンボル	AIM		ハネウエル	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Codabar]Fm	0-1	a	61
Code 11]H3		h	68
Code 128]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)]X0		<	3C
Code 39 (Full ASCII モード対応)]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)]L2		T	54
Code 93 および 93i]Gm	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN]Em	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (Bookland EAN を含む)]E0		d	64
EAN-13 with Add-On (アドオン付き EAN-13)]E3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code (拡張クーポンコード付き EAN-13)]E3		d	64

シンボル	AIM		ハネウェル	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
EAN-8]E4		D	44
EAN-8 with Add-On (アドオン付き EAN-13)]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar (GS1 データバー)]em	0	y	79
GS1 データバー限定型 (リミテッド)]em		{	7B
GS1 DataBar 拡張型]em		}	7D
GS1-128]C1		l	49
2 of 5				
中国郵便コード (香港 2 of 5)]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5]lm	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5]X0		m	6D
NEC 2 of 5]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA]Rm	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial]S0		f	66
MSI]Mm	0, 1	g	67
Telepen]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A]E0		c	63
UPC-A with Add-On (アドオン付き UPC-A)]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code (拡張コード付き UPC-A)]E3		c	63
UPC-E]E0		E	45
UPC-E with Add-On (アドオン付き UPC-E)]E3		E	45

シンボル	AIM		ハネウェル	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
UPC-E1]X0		E	45
Honeywell Code ID 追加				5C80
AIM Code ID 追加				5C81
Backslash 追加				5C5C
Batch mode quantity			5	35

2次元シンボル

シンボル	AIM		ハネウェル	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Aztec コード]zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code (漢信コード)]X0		H	48
Codablock A]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F]Om	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix]dm	0-6	w	77
GS1]em	0-3		
GS1 Composite (GS1 コンポジット)]em	0-3	y	79
GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)]em		y	79
MaxiCode]Um	0-3	x	78
PDF417]Lm	0-2	r	72
MicroPDF417]Lm	3-5	R	52
QR コード]Qm	0-6	s	73
Micro QR コード]Qm		s	73

郵便シンボル

シンボル	AIM		ハネウェル	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Australian Post (オーストラリア郵便)]X0		A	41
British Post (英国郵便)]X0		B	42
Canadian Post (カナダ郵便)]X0		C	43

シンボル	AIM		ハネウエル	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
China Post (中国郵便)]X0		Q	51
InfoMail]X0		,	2c
インテリジェント メールバーコード]X0		M	4D
日本郵便]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post (オランダ郵便)]X0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)]X0		?	3F
Planet コード]X0		L	4C
Postal-4i]X0		N	4E
Postnet]X0		P	50

ASCII 変換チャート (コードページ1252)

キーボードアプリケーションで、ASCII コントロールキャラクタは以下のように3つの異なる方法で表現されます。CTRL+X ファンクションキーは OS とアプリケーションによって異なります。以下のテーブルは Microsoft で使用される共通の機能のリストです。この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定によって異なる場合があります。

印刷不可能な ASCII コントロール キャ ラクタ			キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モー ドオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+ @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL+ A	Select all
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+ B	Bold
3	03	ETX	ALT Make	CTRL+ C	Copy
4	04	EOT	ALT Break	CTRL+ D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL+ E	Center
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL+ F	Find
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL+ G	

印刷不可能な ASCII コントロール キャ ラクタ			キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モー ドオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL+ H	History
9	09	HT	タブ	CTRL+ I	Italic
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL+ J	Justify
11	0B	VT	タブ	CTRL+ K	hyperlink
12	0C	FF	削除	CTRL+ L	list, left align
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL+ M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+ N	New
15	0F	SI	ESC	CTRL+ O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+ P	印刷
17	11	DC1	ホーム	CTRL+ Q	Quit
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+ R	
19	13	DC3	バックスペース	CTRL+ S	保存
20	14	DC4	バックタブ	CTRL+ T	
21	15	NAK	F12	CTRL+ U	
22	16	SYN	F1	CTRL+ V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+ W	
24	18	CAN	F3	CTRL+ X	
25	19	EM	F4	CTRL+ Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+ Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+ [
28	1C	FS	F7	CTRL+ \	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+ ^	
31	1F	US	F10	CTRL+ -	
127	7F	△	NP Enter		

下位 ASCII R リファレンステーブル

注意 : Windows コードページ1252 および 下位 ASCII は同じキャラクタを使用します。

印刷可能なキャラクタ								
DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	
33	21	!	65	41	A	97	61	a

印刷可能なキャラクタ (つづき)								
DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	¸

拡張 ASCII キャラクタ					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
128	80	€	Ç	up arrow ↑	0x48
129	81		ü	down arrow ↓	0x50
130	82	,	è	right arrow →	0x4B
131	83	f	á	left arrow ←	0x4D
132	84	,	ä	Insert	0x52
133	85	...	â	削除	0x53
134	86	†	ã	ホーム	0x47
135	87	#	ç	終了	0x4F
136	88	ˆ	é	ページアップ	0x49
137	89	%o	e	ページダウン	0x51
138	8A	S	ê	Right ALI	0x38
139	8B	κ	í	Right CTRL	0x1D
140	8C	œ	ï	Reserved	n/a
141	8D	˘	ì	Reserved	n/a
142	8E	Z	À	Numeric Keypad Enter	0x1C
143	8F		Á	Numeric Keypad /	0x35
144	90		É	F1	0x3B

拡張 ASCII キャラクタ (つづき)

DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
145	91		æ	F2	0x3C
146	92		/E	F3	0x3D
147	93		ø	F4	0x3E
148	94		ø	F5	0x3F
149	95		ø	F6	0x40
150	96		ù	F7	0x41
151	97		ù	F8	0x42
152	98		ÿ	F9	0x43
153	99	™	Œ	F10	0x44
154	9A	§	Ū	F11	0x57
155	9B	›	Ƴ	F12	0x58
156	9C	œ	£	Numeric Keypad +	0x4E
157	9D		¥	Numeric Keypad -	0x4A
158	9E	ž	Ŧ	Numeric Keypad *	0x37
159	9F	Ÿ	ſ	Caps Lock	0x3A
160	A0		à	Num Lock	0x45
161	A1		á	Left Alt	0x38
162	A2	¢	â	Left Ctrl	0x1D
163	A3	£	û	Left Shift	0x2A
164	A4	¤	ü	Right Shift	0x36
165	A5	¥	Û	印刷画面	n/a
166	A6	¦	ä	タブ	0x0F
167	A7	§	å	Shift Tab	0x8F
168	A8		æ	エンター	0x1C
169	A9	©	ç	Esc	0x01
170	AA	ª	ƒ	Alt Make	0x36
171	AB	«	½	Alt Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		ı	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	Alt Sequence with 1 Character	0x36
175	AF		»	Ctrl Sequence with 1 Character	0x1D
176	B0	°	•		
177	B1	±	•		
178	B2	²	•		
179	B3	³	•		
180	B4	´	•		
181	B5	µ	•		
182	B6	¶	•		
183	B7	·	•		
184	B8	¸	•		
185	B9	¹	•		
186	BA	º	•		
187	BB	»	•		
188	BC	¼	•		
189	BD	½	•		
190	BE	¾	•		
191	BF	¿	•		
192	C0	À	•		
193	C1	Á	•		
194	C2	Â	•		
195	C3	Ã	•		
196	C4	Ä	•		
197	C5	Å	•		

拡張 ASCII キャラクタ (つづき)					
DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
198	C6	Æ	Æ		
199	C7	Ç	Ç		
200	C8	È	È		
201	C9	É	É		
202	CA	Ê	Ê		
203	CB	Ë	Ë		
204	CC	Ì	Ì		
205	CD	Í	Í		
206	CE	Î	Î		
207	CF	Ï	Ï		
208	D0	Ð	Ð		
209	D1	Ñ	Ñ		
210	D2	Ò	Ò		
211	D3	Ó	Ó		
212	D4	Ô	Ô		
213	D5	Õ	Õ		
214	D6	Ö	Ö		
215	D7	×	×		
216	D8	Ø	Ø		
217	D9	Ù	Ù		
218	DA	Ú	Ú		
219	DB	Û	Û		
220	DC	Ü	Ü		
221	DD	Ý	Ý		
222	DE	Þ	Þ		
223	DF	ß	ß		
224	E0	à	à		
225	E1	á	á		
226	E2	â	â		
227	E3	ã	ã		
228	E4	ä	ä		
229	E5	å	å		
230	E6	æ	æ		
231	E7	ç	ç		
232	E8	è	è		
233	E9	é	é		
234	EA	ê	ê		
235	EB	ë	ë		
236	EC	ì	ì		
237	ED	í	í		
238	EE	î	î		
239	EF	ï	ï		
240	F0	ò	ò		
241	F1	ó	ó		
242	F2	ô	ô		
243	F3	õ	õ		
244	F4	ö	ö		
245	F5	÷	÷		
246	F6	ø	ø		
247	F7	ù	ù		
248	F8	ú	ú		
249	F9	û	û		
250	FA	ü	ü		

拡張 ASCII キャラクタ (つづき)

DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
251	FB	ü	√		
252	FC	û	∩		
253	FD	ÿ	¿		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	ハネウェルコードページオプション
アメリカ (standard ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2 (デフォルト)
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
デフォルトの“自動国キャラクタ置換”は以下の Code128、Code 39、Code 93 用ハネウェルコードページオプションを選択します。			
アメリカ	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	ハネウェルコードページオプション
イギリス (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド (拡張 Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

Dec			3 5	3 6	6 4	9 1	9 2	9 3	9 4	9 6	12 3	12 4	12 5	12 6	
Hex			2 3	2 4	4 0	5 B	5 C	5 D	5 E	6 0	7B	7C	7D	7E	
US	0	1	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~	
CA	5 4	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û	
CA	1 8	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û	
JP	2 8	98	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	-	
CN	9 2	99	#	¥	@	[\]	^	`	{		}	-	
GB	7	87	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~	
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	¨	
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß	
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û	
SE/ FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü	
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	¨	
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	¨	
IE	7 3	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á	
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì	
PT	1 3	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°	
ES	1 0	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~	
ES	5 1	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	´	ñ	ç	¨	
国	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	ISO / IEC 646 国キャラクタ変換

サンプルシンボル

Matrix 2 of 5



6543210

GS1 データバー



(01)00123456789012

PDF417



Car Registration

Postnet



Zip Code

Data Matrix



Test Symbol

QR コード



Numbers

4-CB (4-State Customer Bar Code)



01,234,567094,987654321,01234567891

ID-tag (UPU 4-State)



J18CUSA8E6N062315014880T

サンプルシンボル

Aztec



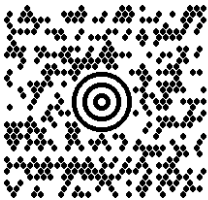
Package Label

Micro PDF417



Test Message

MaxiCode



Test Message

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9

プログラミングチャート



KAK

A



KBK

B



KCK

C



KDK

D



KEK

E



KFK

F



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄



RESET_.

リセット

注意：文字または数字（Save（保存）を読み取る前に）をスキャンしエラー
した場合は、Discard（破棄）を読み取り、正確に文字または数字をも

う一度スキャンして、**Save**（保存）を読み取ってください。

ハネウエルジャパン株式会社
SPS セーフティ&プロダクティビティ・ソリューションズ
〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー 20 階
電話 : 03-6730-7344
FAX : 03-6730-7224
MAIL : HSMJapanInquiry@Honeywell.com
WEB : www.honeywellaidc.com/ja-jp